

# 浜松地域の経済動向

—2020年1月を中心に—

新型コロナウイルス感染拡大による浜松経済への影響が懸念される。

浜松地域の経済は、製造業では、楽器の回復傾向がみられ2カ月連続で前年同月を上回った。

二輪車は前年同月比プラスに転じたが、自動車生産台数はサポカー補助金があるものの

9カ月連続で前年同月を下回り厳しい状態が続いている。

非製造業では市内ホテル宿泊者数は1月後半以降新型コロナウイルスの影響を受け

中国人旅行者、国内旅行者とも大幅に減少した。

今後、感染が長期化すれば浜松経済への影響深刻化が懸念される。

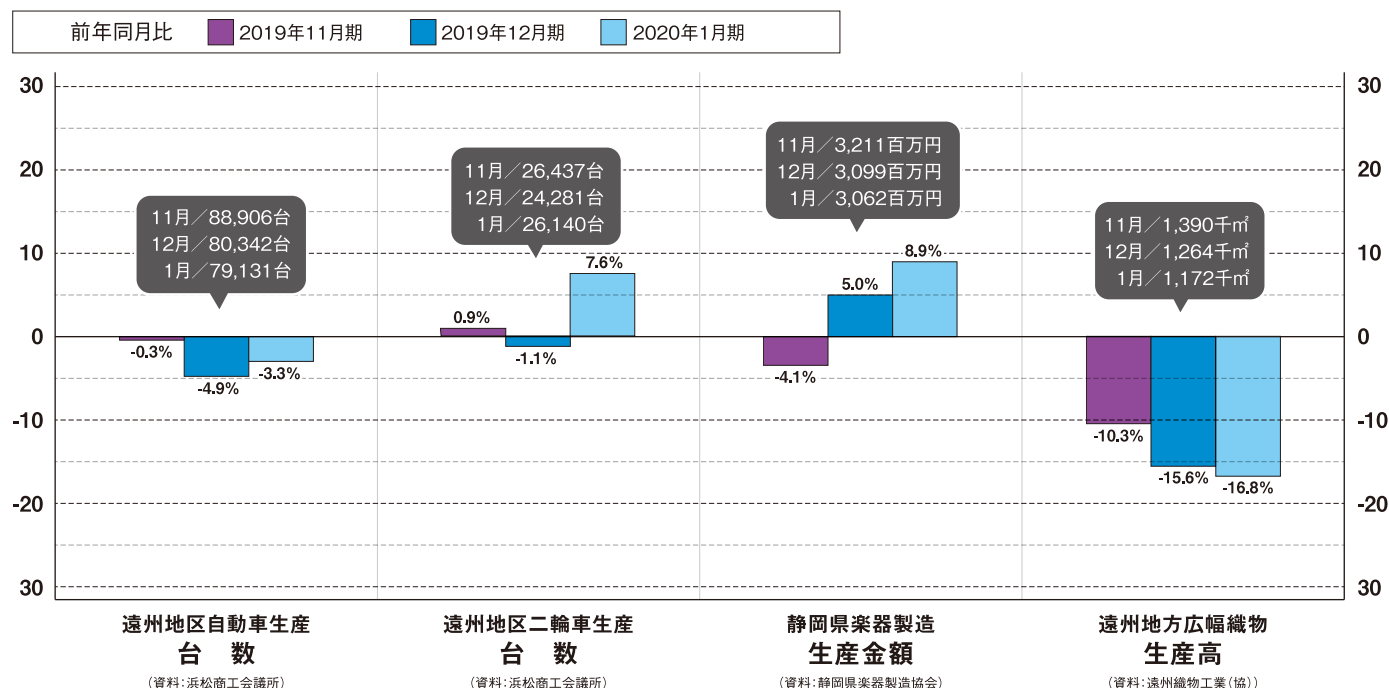
2020.

4

2020年4月発行

発行：浜松商工会議所

## ① 製造業〈主要経済指標〉



### 自動車



2020年1月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比3.3%減の7.9万台となった。前年水準を下回るのは9カ月連続。小型四輪車、普通四輪車は増加したが、軽自動車は減少した。国内向けは前年同月比7.5%減少であったが、輸出は前年同月比15.4%増加となった。

国内向けは8カ月連続で前年同月を下回っている。今後、新型コロナウイルスによる部品工場停止により供給不足が生じれば自動車生産に影響を与える可能性がある。

### 二輪車



2020年1月における二輪車生産台数は前年同月比7.6%増の2.6万台となった。国内向けは、前年同月比52.9%増加、輸出は前年同月比2.5%の増加となった。排気量別では50cc以下前年比13.7%減、51cc～125cc以下7.5%増、126cc～250cc以下31.4%増、251cc以上6.6%増であった。50cc以下の原付バイクは5カ月連続のマイナスとなっている。

### 楽器



2020年1月における生産金額は前年同月比8.9%増の30億円となった。分野別に1月の生産台数をみると、ピアノ、電子/電気ピアノ、管楽器は増加したが、電子オルガンは減少した。電子オルガンは9.8%減と6カ月連続前年水準を下回っている。

楽器生産総額は2カ月連続で前年同月を上回り回復傾向がみられる。特にピアノは4カ月連続で3千台以上となっており、前年同月10%以上の増加であった。

### 繊維



2020年1月の生産量は前年同月比16.8%減の1,172千㎡となった。前年比マイナスとなるのは10カ月連続。綿織物、合繊織物、スフ織物、その他織物のいずれも前年比マイナスとなった。特にその他織物が前年比32.8%減と減少幅が大きかった。来春夏衣料向けの生産はほぼ終了。遠州産地の織物は春夏物が主流であるが、消費の低迷による景気の悪化により近年にない悪い状況で工場稼働率は低下している。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2020年1月におけるタクシー乗車人員は前年同月比4.7%減の41.5万人となった。前年水準を下回るのは1年5カ月連続。タクシー乗車人員が減少している背景には運転者数の減少および高齢化があると考えられる。特に夜間の需要が減少している。新型コロナウイルスの影響は顕著には表れていないが、今後、感染が拡大すれば利用者減少が懸念される。

### 観光

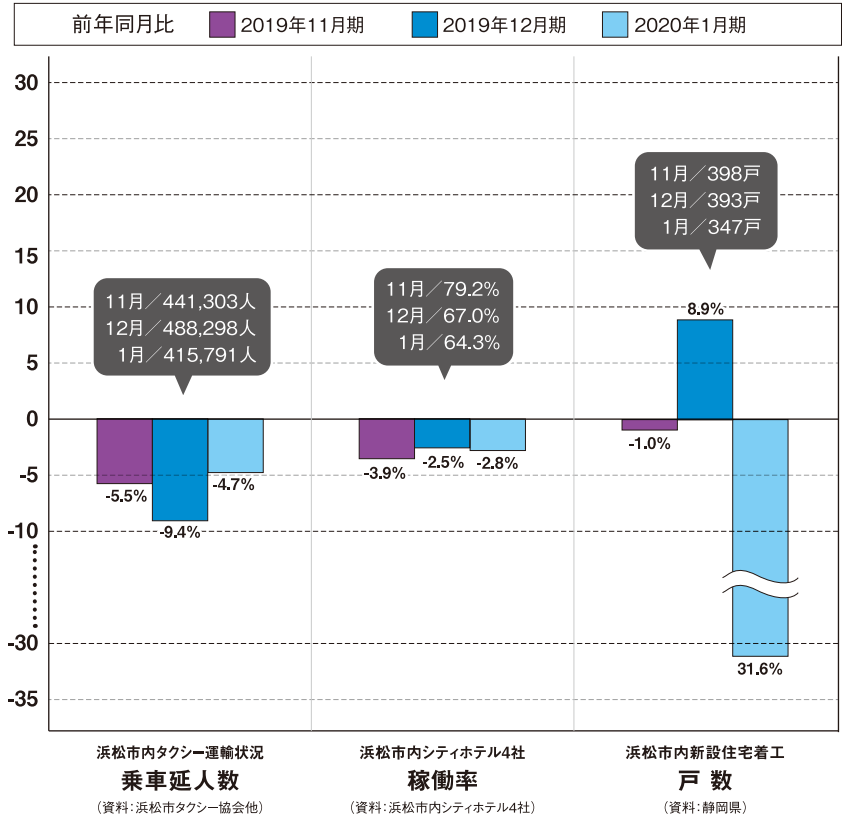


2020年1月の浜松市内シティホテル4社の稼働率は前年同月比2.8ポイント下降の64.3%となった。正月3日は、ビジネス、インバウンドとも前年並みであったが、1月後半は新型コロナウイルスの影響で中国インバウンド、国内旅行者とも大幅に減少した。

### 住宅着工



2020年1月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比31.6%減の347戸となった。持家は前年同月比6戸減少、貸家は前年同月比141戸減少、分譲住宅は12戸減少であった。米中貿易摩擦に伴う景気減速懸念や消費増税の影響が顕在化し消費マインドが低迷している。持家、貸家、分譲住宅いずれも減少であったが、特に貸家の減少戸数が多かった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2020年1月の有効求人倍率は前年同月比0.36ポイント下降の1.43となった。前月比では0.08ポイント下降した。全国（1.49）との比較では0.06ポイント下回り、静岡県（1.38）を0.05ポイント上回った。月間有効求人数は前年同月2,182人減少しており13か月連続で前年同月を下回っている。率にしては11.9%減少している。有効求人倍率も低下傾向がみられる。

### 倒産企業



2020年1月における県西部の企業倒産件数（帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産）は8件、負債総額は13.9億円となった。倒産企業数は前年同月比60%増。前月対比5件増となった。静岡県全体の倒産件数は20件、前年同月比42.9%増であった。新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため各種イベント中止が相次いでおり、外出を控える動きがさらに強まれば、売り上げ減少による倒産企業数の増加が懸念される。

### ガソリン価格

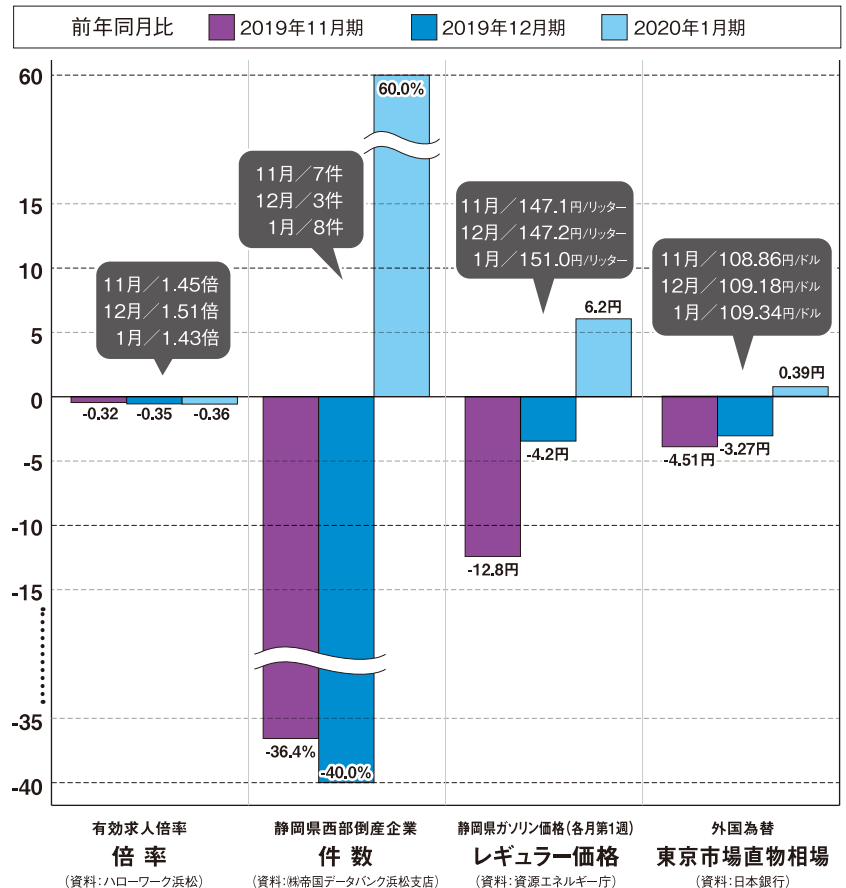


2020年1月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり151.0円となった。前月比3.8円上昇、前年同月と比較すると6.2円上昇した。新型コロナウイルスはイランをはじめ産油国でも感染が拡大しており影響が懸念される。

### 外国為替



2020年1月の外国為替は1ドル109.34円となった。前年同月と比較すると0.39円の円安となっている。新型コロナウイルスは世界的に感染が拡大しており、不安定な為替相場を心配する声も高まっている。



# 浜松地域の経済動向

—2020年2月を中心に—

新型コロナウイルス感染拡大による影響が出始める。

感染拡大の影響が浜松経済にも出始めている。

自動車・二輪車は、中国部品工場停止により供給不足が生じており、

国内消費も低迷していることから生産調整が続いている。

前月まで増加していた楽器生産は減少に転じた。

運輸・観光業においては、外国人旅行者が大幅に減少しており、国内旅行も自粛ムードが高まっている。

各種セミナー、イベントはキャンセルが相次いでいる。感染を恐れ外出を控えていることから小売業にも影響が出始めている。

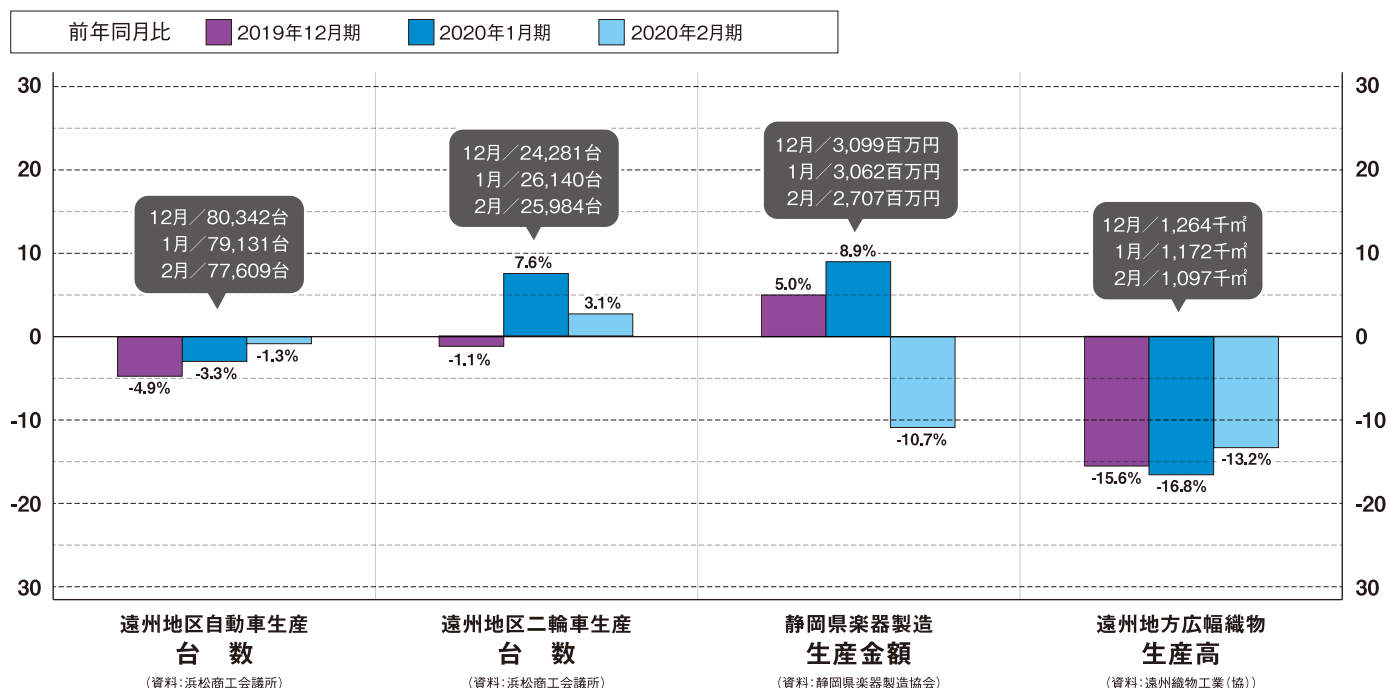
2020.

5

2020年5月発行

発行：浜松商工会議所

## ① 製造業〈主要経済指標〉



### 自動車



2020年2月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比1.3%減の7.7万台となった。前年水準を下回るのは10カ月連続。小型四輪車、普通四輪車は増加したが、軽自動車は減少した。国内向けは前年同月比6.8%減少であったが、輸出は前年同月比24.4%増加となった。

国内向けは9カ月連続で前年同月を下回っている。中国部品工場停止による供給不足が生じており、新型コロナウイルスの影響が出始めている。

### 二輪車



2020年2月における二輪車生産台数は前年同月比3.1%増の2.5万台となった。国内向けは、前年同月比5.1%増加、輸出は前年同月比2.8%の増加となった。排気量別では50cc以下前年比40.0%減、51cc～125cc以下12.3%減、126cc～250cc以下38.5%増、251cc以上5.2%増であった。新型コロナウイルスの感染拡大で試作品の発注が滞るなど生産に影響が出始めている。

### 楽器



2020年2月における生産金額は前年同月比10.7%減の27億円となった。分野別に2月の生産台数をみると、電子・電気ピアノは増加したが、ピアノ、管楽器、電子オルガンは減少した。電子オルガンは38.9%減と7カ月連続前年水準を下回っている。

楽器生産総額は前月まで2カ月連続で前年同月を上回っていたが再び減少に転じた。ピアノは前月まで4カ月連続で3千台以上となっていたが、2月は前年同月3.9%減となった。

### 繊維



2020年2月の生産量は前年同月比13.2%減の1,097千㎡となった。前年比マイナスとなるのは11カ月連続。すべての織物が前年比マイナスとなった。通常2月は秋冬衣料向けの生産への転換の時期となり稼働率が下がる時期ではあるが、新型コロナウイルスの影響で消費の先行きに懸念が広がっており、例年以上に稼働率が低下している。感染長期化で海外からの輸入が滞るようであれば国内生産が増加する可能性もある。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2020年2月におけるタクシー乗車人員は前年同月比5.2%減の37,886人となった。前年水準を下回るのは1年6カ月連続。新型コロナウイルスの影響が出始め、旅行者、ビジネス利用者共に減少した。感染を恐れ飲食店、繁華街へ出かける人も減少しているため、夜間の利用者が特に減少した。今後、感染拡大が長期化すれば更なる利用者減少が懸念される。

### 観光

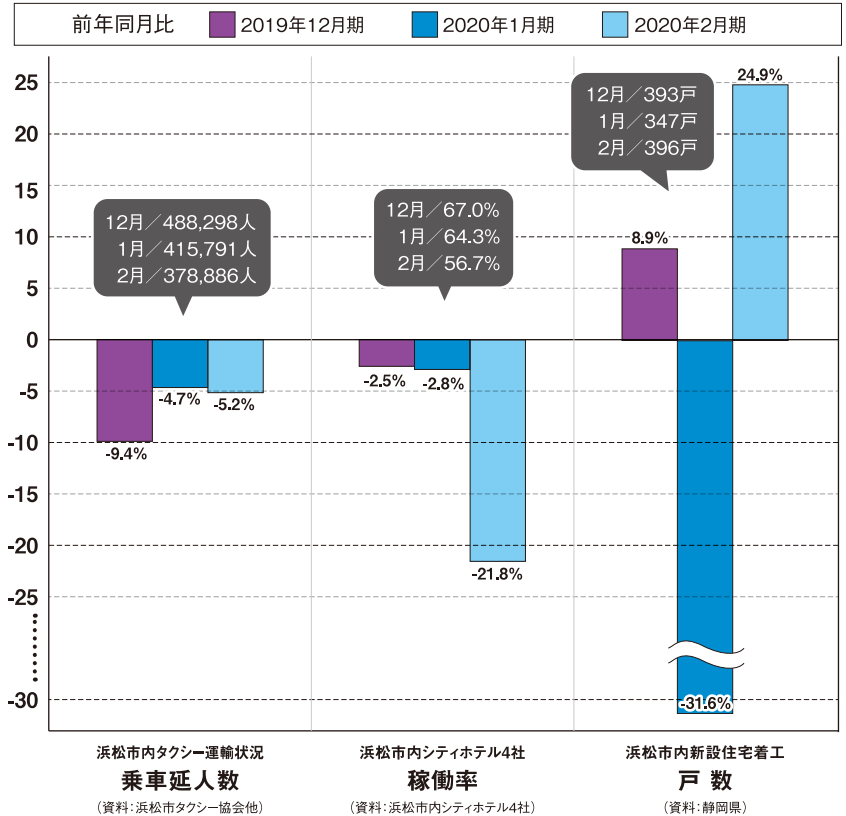


2020年2月の浜松市内シティホテル4社の稼働率は前年同月比21.8ポイント下降の56.7%となった。感染拡大防止のための外出制限によりインバウンド、国内旅行、ビジネスとも大幅に減少した。ホテルを利用している各種セミナー、イベント、宴会のキャンセルが増加してきている。

### 住宅着工



2020年2月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比24.9%増の396戸となった。持家は前年同月比6戸増加、貸家は前年同月比10戸増加、分譲住宅は63戸増加であった。持家、貸家、分譲住宅いずれも増加であった。静岡県全体の住宅着工戸数は1,391戸で前年同月1,603戸より212戸減少となったが、浜松市は79戸の増加であった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2020年2月の有効求人倍率は前年同月比0.37ポイント下降の1.38となった。前月比では0.05ポイント下降した。全国(1.45)との比較では0.07ポイント下回り、静岡県(1.27)を0.11ポイント上回った。新型コロナウイルスの感染拡大の長期化による売り上げ減少企業が増加してきた影響もあり、月間有効求人数は前年同月14.6%の大幅減となった。雇用情勢の悪化傾向が徐々に顕著になってきている。

### 倒産企業



2020年2月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は3件、負債総額は3.3億円となった。倒産企業数は前年同月同数。前月対比5件減となった。静岡県全体の倒産件数は14件、前年同月比36.4%減であった。2月の段階では新型コロナウイルスによる影響は少ないが、感染拡大が長期化すれば売り上げ減少による倒産企業数の増加が懸念される。

### ガソリン価格

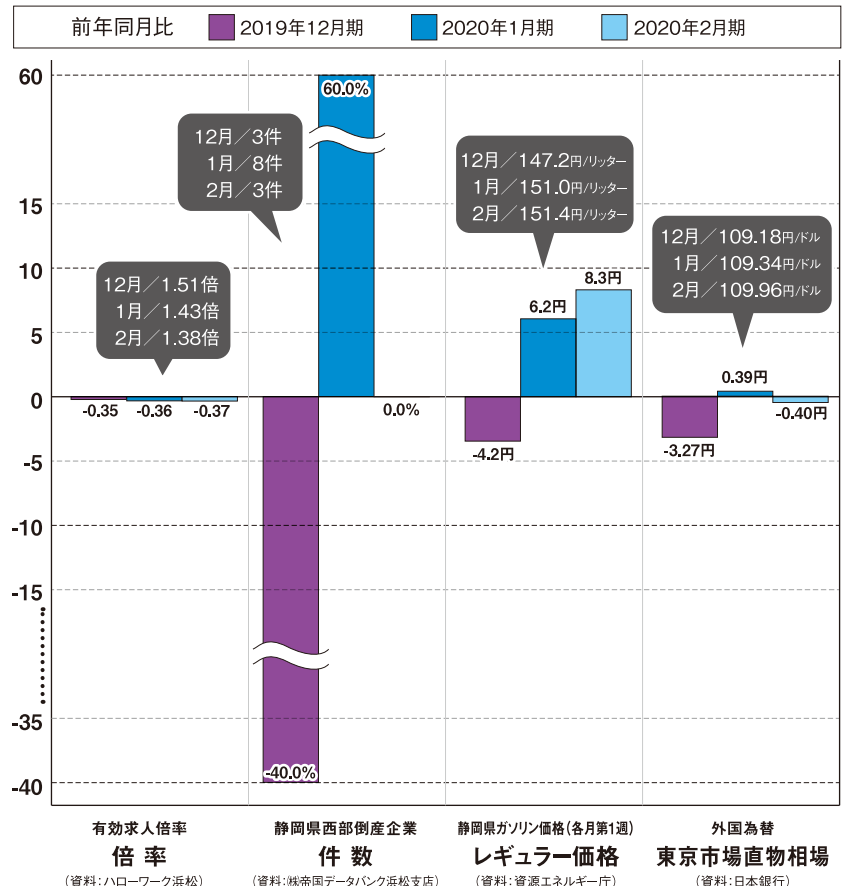


2020年2月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり151.4円となった。前月比0.4円上昇、前年同月と比較すると8.3円上昇した。新型コロナウイルスは世界的に感染が拡大しており影響が懸念される。

### 外国為替



2020年2月の外国為替は1ドル109.96円となった。前年同月と比較すると0.40円の円高となっている。新型コロナウイルスは世界的に感染が拡大しており、不安定な為替相場を心配する声も高まっている。





# 新型コロナウイルスの影響で 業況DI悪化、長期化を懸念

2020年5月発行

発行  
浜松商工会議所

※業況判断指数……景況判断の基準としてDI(Diffusion Index)による分析で、各質問項目のプラス傾向割合からマイナス傾向割合を差し引いた数値のこと

|             | 全 体 |     |     |     | うち小規模事業者                  |     |     |     |
|-------------|-----|-----|-----|-----|---------------------------|-----|-----|-----|
|             | 調査数 | 業 況 |     |     | 調査数                       | 業 況 |     |     |
|             |     | 前 期 | 今 期 | 見通し |                           | 前 期 | 今 期 | 見通し |
| 全 体         | 623 |     |     |     | 256                       |     |     |     |
| 二輪車部品製造     | 45  |     |     |     | 22                        |     |     |     |
| 自動車部品製造     | 75  |     |     |     | 17                        |     |     |     |
| 機械部品製造      | 59  |     |     |     | 32                        |     |     |     |
| 楽器部品製造      | 19  |     |     |     | 12                        |     |     |     |
| 繊維製造        | 23  |     |     |     | 19                        |     |     |     |
| 卸売業         | 75  |     |     |     | 27                        |     |     |     |
| 小売業         | 59  |     |     |     | 23                        |     |     |     |
| 建設業         | 70  |     |     |     | 11                        |     |     |     |
| 不動産業        | 43  |     |     |     | 32                        |     |     |     |
| 飲食・宿泊・レジャー等 | 20  |     |     |     | 「2020年1月～3月期中小企業景気動向調査」より |     |     |     |



# 浜松地域の経済動向

—2020年3月を中心に—

## 新型コロナウイルス感染拡大による影響深刻化

新型コロナウイルス感染拡大の影響が深刻化している。

例年80%を超える3月市内ホテルの稼働率は、33.8%と前年同月比52.3ポイントの大幅低下となった。

現在一部のホテルを除き休業中となっている。

タクシー利用者もインバウンドの減少と外出自粛により利用者は少ない状態となっている。

好調に推移していた製造業も二輪車生産台数が減少に転じるなど影響が出始めている。

有効求人倍率は低下しており雇用にも影響が出てきている。

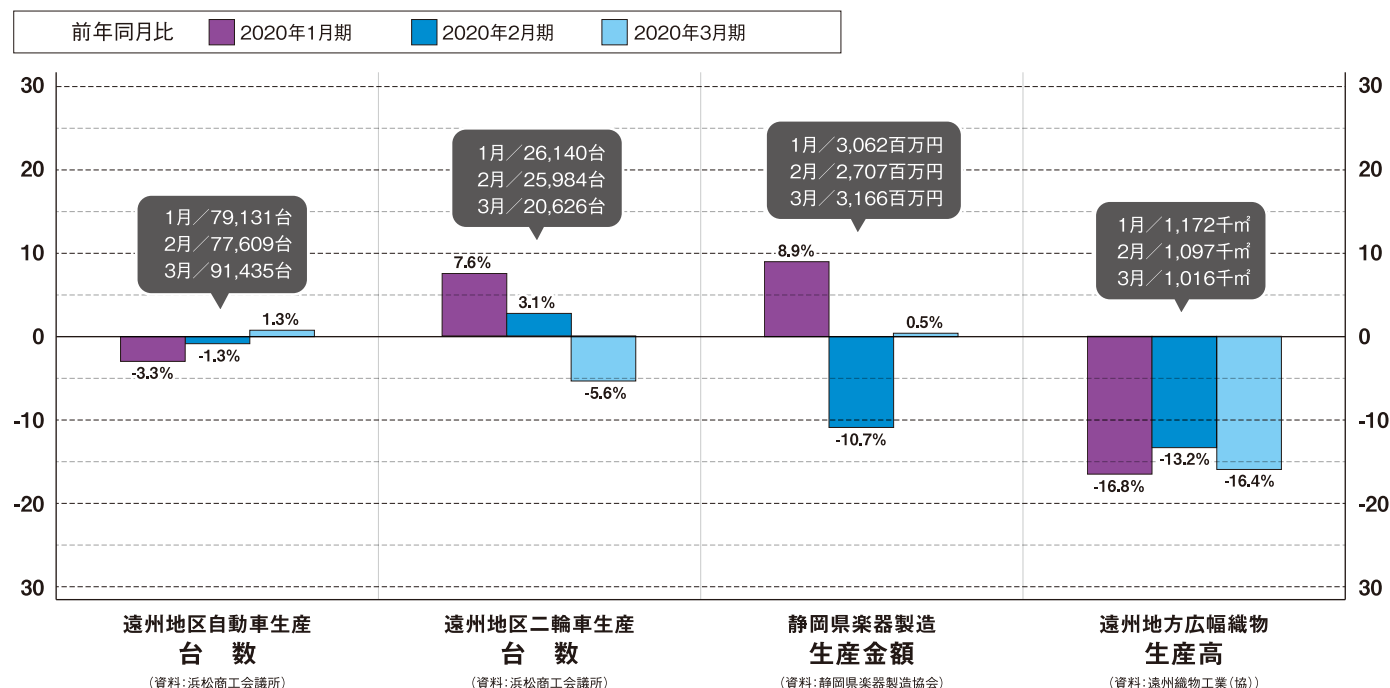
2020.

6

2020年6月発行

発行：浜松商工会議所

## ① 製造業〈主要経済指標〉



### 自動車



2020年3月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比1.3%増の9.1万台となった。11カ月ぶりに前年同月を上回った。小型四輪車、普通四輪車は増加したが、軽自動車は減少した。国内向けは前年同月比2.1%減少であったが、輸出は前年同月比19.5%増加となった。国内向けは10カ月連続で前年同月を下回っている。世界的な新型コロナウイルスの感染拡大長期化による輸出への影響が懸念される。

### 二輪車



2020年3月における二輪車生産台数は前年同月比5.6%減の2万台となった。国内向けは、前年同月比21.0%増加、輸出は前年同月比11.5%の減少となった。排気量別では50cc以下前年比18.6%減、51cc～125cc以下22.4%増、126cc～250cc以下30.5%増、251cc以上10.3%減であった。新型コロナウイルスの世界的感染拡大で先月まで好調であった輸出も減少に転じた。

### 楽器



2020年3月における生産金額は前年同月比0.5%増の31億円となった。分野別に3月の生産台数をみると、電子・電気ピアノ、管楽器は増加したが、ピアノ、電子オルガンは減少した。電子オルガンは7.7%減と8カ月連続前年水準を下回っている。前月マイナスとなった楽器生産総額は3月再び増加に転じた。電子・電気ピアノは3カ月連続で前年同月比10%以上の増加となっている。

### 繊維



2020年3月の生産量は前年同月比16.4%減の1,016千㎡となった。前年比マイナスとなるのは12カ月連続。すべての織物が前年比マイナスとなった。3月は今秋冬衣料転換期であるが新規受注に向けた話は少ない。暖冬などにより店頭販売は不振となっている。新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛要請により、需要が大幅に減少しており生産高回復の目途は立っていない。期待された中国から国内への生産シフトも期待通りには進んでいない。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2020年3月におけるタクシー乗車人員は前年同月比37.1%減の30.5万人と大幅な減少となった。前年水準を下回るのは1年7カ月連続。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための外出自粛により旅行者、ビジネス利用者共に大幅に減少した。日中は高齢者の通院利用がほとんどだった。

### 観光

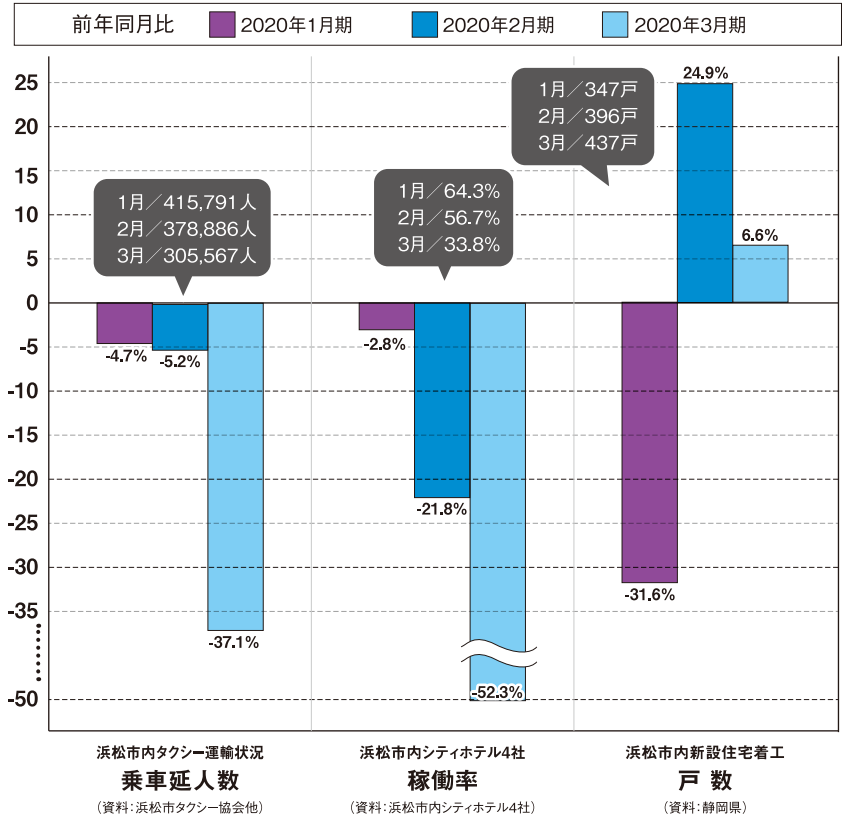


2020年3月の浜松市内シティホテル4社の稼働率は前年同月比52.3ポイント下降の33.8%となった。インバウンドはほぼ無く、個人国内旅行、ビジネスともキャンセルが相次いでいる。ホテルを利用した各種セミナー、宴会、イベント等も中止、延期となっている。現在、市内ホテルは一部のホテルを除き休業中となっており、感染収束による営業再開が望まれる。

### 住宅着工



2020年3月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比6.6%増の437戸となった。持家は前年同月比67戸増加、貸家は前年同月比41戸減少、分譲住宅は4戸増加であった。持家、分譲住宅は増加したが貸家は減少した。静岡県全体の住宅着工戸数は1,624戸で前年同月1,642戸より18戸減少となったが、浜松市は27戸の増加であった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2020年3月の有効求人倍率は前年同月比0.35ポイント下降の1.31となった。前月比では0.07ポイント下降した。全国(1.39)との比較では0.08ポイント下回り、静岡県(1.22)を0.09ポイント上回った。前年同月と比較して月間有効求職者数は690人増加したが、月間有効求職人数は2,938人の大幅減となった。新型コロナウイルス感染拡大長期化による雇用情勢の悪化が徐々に顕著になってきている。

### 倒産企業



2020年3月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は3件、負債総額は8.1億円となった。倒産企業数は前年同月および前月と同数であったが、負債総額は前月比4.8億円の増加となった。静岡県全体の倒産件数は17件、前年同月比21.4%増であった。新型コロナウイルスによる経済への影響がはじめており倒産企業数の増加が懸念される。

### ガソリン価格

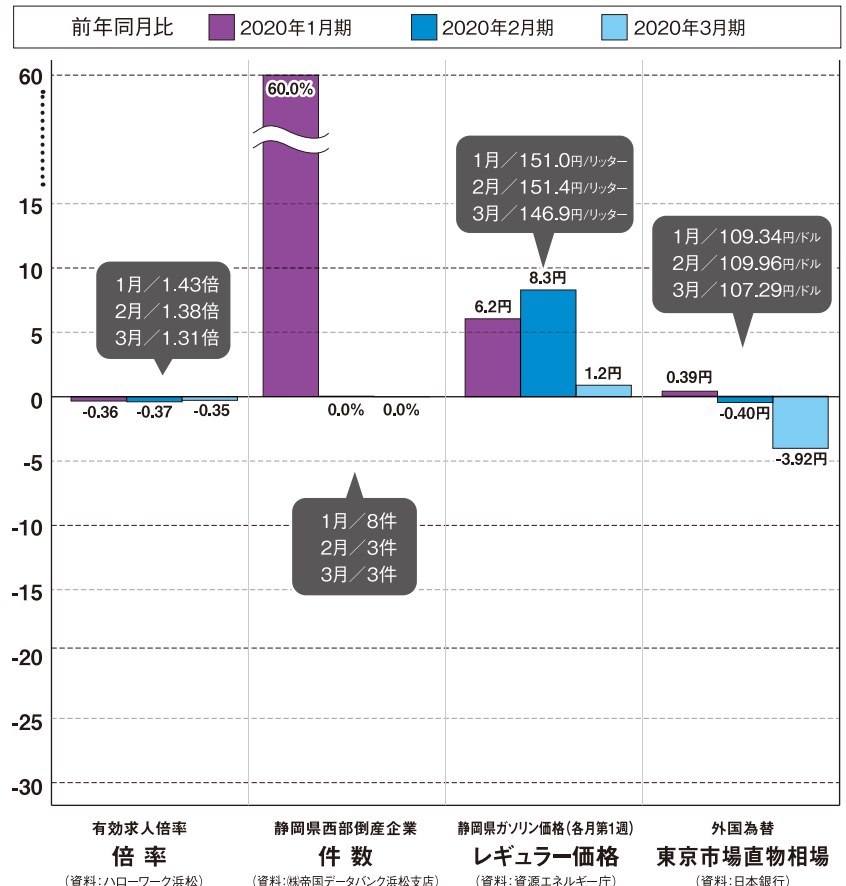


2020年3月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり146.9円となった。前月比4.5円下降、前年同月と比較すると1.2円上昇した。世界的な新型コロナウイルス感染の拡大により石油製品の需要が低迷しており、生産国間の生産調整も難航していることから不安定な値動きが予想される。

### 外国為替



2020年3月の外国為替は1ドル107.29円、前年同月と比較すると3.92円の円高。米国での新型コロナ感染拡大長期化による急激な円高を心配する声も高まっている。



# 浜松地域の経済動向

—2020年4月を中心に—

## 新型コロナウイルス感染拡大長期化により影響甚大

新型コロナウイルス感染拡大長期化が浜松経済に甚大な影響を与えている。世界的感染拡大により需要が縮小しているため、製造業では自動車生産台数が前年同月比6割強の大幅減産になっている。製造業以外でも外出自粛の影響で、飲食業、小売業、運輸、観光業など多くの業種で売り上げが大幅に減少している。また、雇用情勢も悪化している。求職者は増加しているが求人数は大幅に減少しており、有効求人倍率は前月比で0.21ポイント下降した。

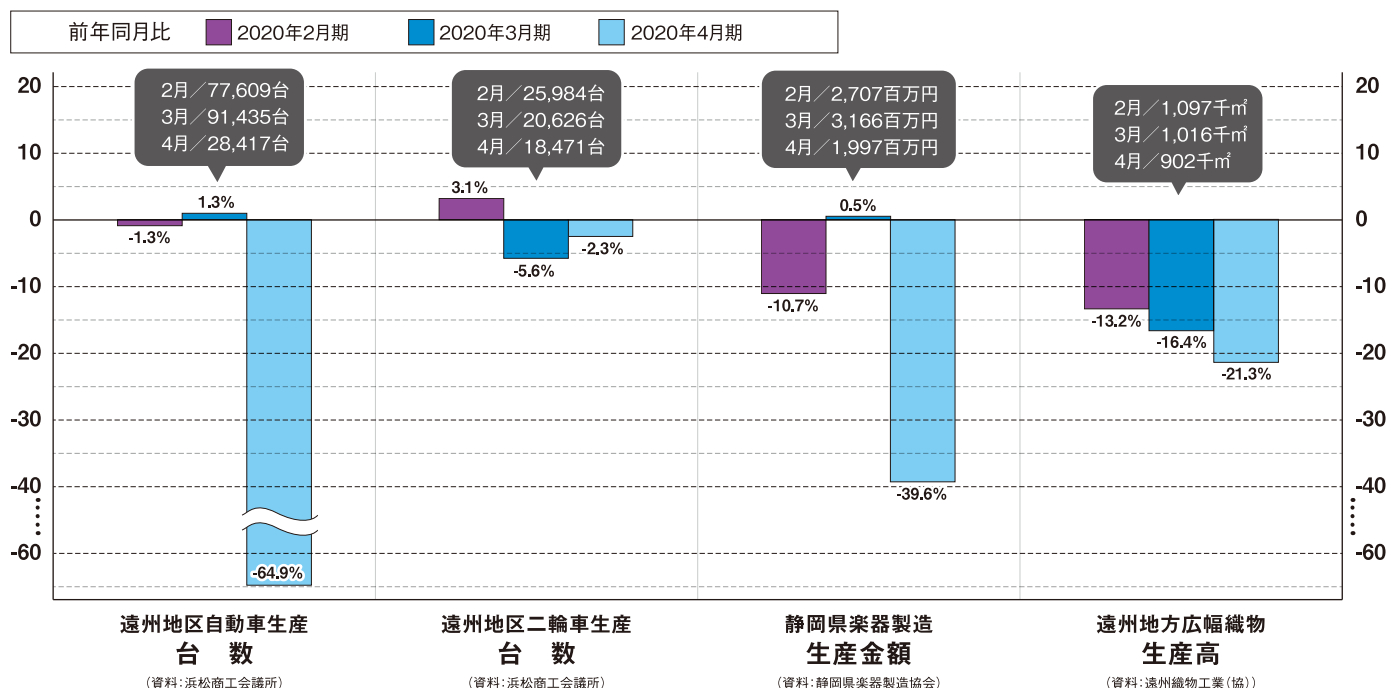
2020.

7

2020年7月発行

発行：浜松商工会議所

### ① 製造業〈主要経済指標〉



#### 自動車



2020年4月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比64.9%減の2.8万台となった。小型四輪車、普通四輪車、軽自動車すべてで前年同月を下回った。国内向けは前年同月比63.0%減少、輸出は前年同月比73.4%減少と50%を超える大幅な減少であった。世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、海外調達部品の一部に影響が出ており、世界的に需要も縮小しているため生産調整となっている。

#### 二輪車



2020年4月における二輪車生産台数は前年同月比2.3%減の1.8万台となった。国内向けは、前年同月比68.8%増加、輸出は前年同月比15.4%の減少となった。排気量別では50cc以下前年比2.9%減、51cc～125cc以下29.6%減、126cc～250cc以下23.0%増、251cc以上1.6%減であった。新型コロナ感染回避策として、人との接触が少ない二輪車が見直され始めている。

#### 楽器



2020年4月における生産金額は前年同月比39.6%減の19.9億円となった。分野別に4月の生産台数をみると、ピアノ、電子オルガン、電子・電気ピアノ、管楽器、すべてで前年同月を下回った。前月まで3カ月連続で前年同月を上回っていた電子・電気ピアノも4月はマイナスとなった。臨時休校で吹奏楽部の活動が止まり、管楽器も苦戦するなど新型コロナ感染拡大の影響が県内楽器業界にも出てきている。

#### 繊維



2020年4月の生産量は前年同月比21.3%減の902千㎡となった。前年比マイナスとなるのは13カ月連続。綿織物、合繊織物、スフ織物、その他織物、全ての織物が前年同月比マイナスとなっている。国による新型コロナウイルスの感染拡大防止のための「緊急事態宣言」発出により多くの人が不要不急の外出を控えているため、繊維製品の需要が大きく落ち込んでいる。消費意欲を回復させるためにも新型コロナウイルス感染拡大の早期収束が望まれる。



## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2020年4月におけるタクシー乗車人員は3月より半減し、前年同月比66.3%減の15.4万人と大幅な減少となった。前年水準を下回るのは1年8カ月連続。外出自粛により日中の利用者は通院等の需要だけでビジネス利用者はほとんどなく、夜間の利用者も例年の75%以上減少となった。各社最大50%の稼働調整を行っている。

### 観光

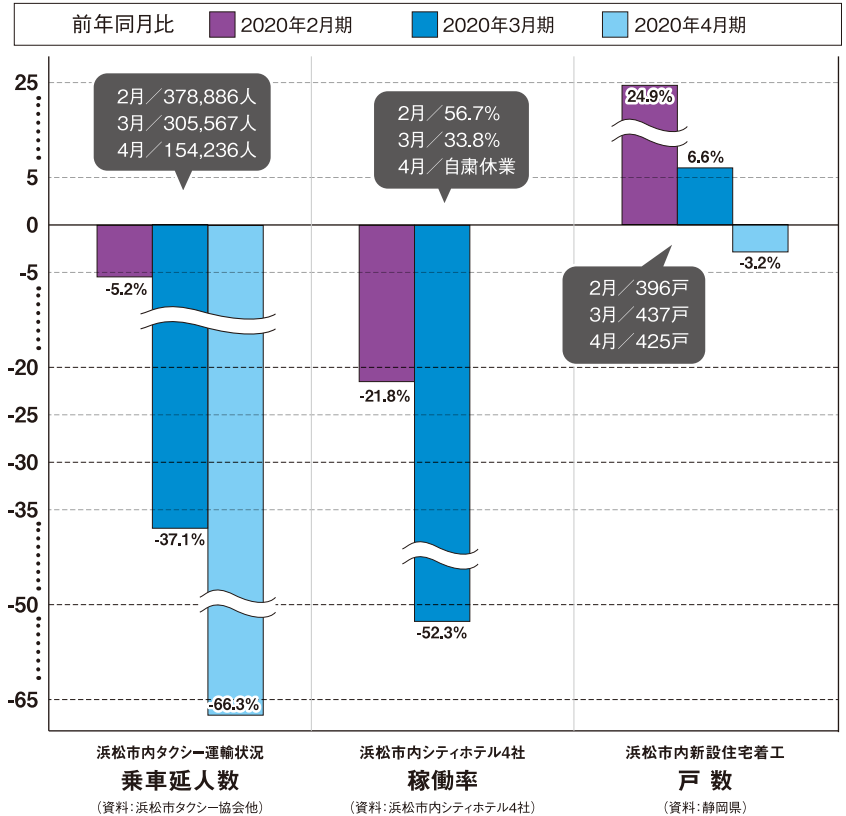


浜松市内一部ホテルは感染拡大防止の手立てを講じて自粛営業しているが、多くのホテルは不要不急の外出を控えるように促した「緊急事態宣言」が発出されたこともあり、4月～6月の間「自粛休業」としている。今後の新型コロナウイルス感染収束状況にもよるが7月からの営業再開を予定している。

### 住宅着工



2020年4月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比3.2%減の425戸となった。持家は前年同月比40戸減少、貸家は前年同月比44戸増加、分譲住宅は16戸減少であった。貸家は増加したが、持家、分譲住宅は減少した。静岡県全体の住宅着工戸数は1,774戸で前年同月1,855戸より81戸減少となり、浜松市も14戸の減少であった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2020年4月の有効求人倍率は前年同月比0.35ポイント下降の1.10となった。前月比では0.21ポイント下降した。全国(1.32)との比較では0.22ポイント下回り、静岡県(1.17)を0.07ポイント下回った。4カ月連続で県を上回っていた浜松の求人倍率が4月は下回った。前年同月と比較して月間有効求職者数は728人増加したが、月間有効求人数は3,271人の大幅減となった。新型コロナウイルス感染拡大によって先行き不透明感が強まり、幅広い業種で求人が大幅に減った。

### 倒産企業



2020年4月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は9件、負債総額は59.8億円となった。倒産企業数は前年同月および前月より6件増加、負債総額は前月比51.7億円の増加となった。静岡県全体の倒産件数は23件、前年同月比27.8%増であった。負債総額30億を超える大型倒産もあったが、多くは外出自粛などの影響により売上が急減した小規模事業先であった。

### ガソリン価格

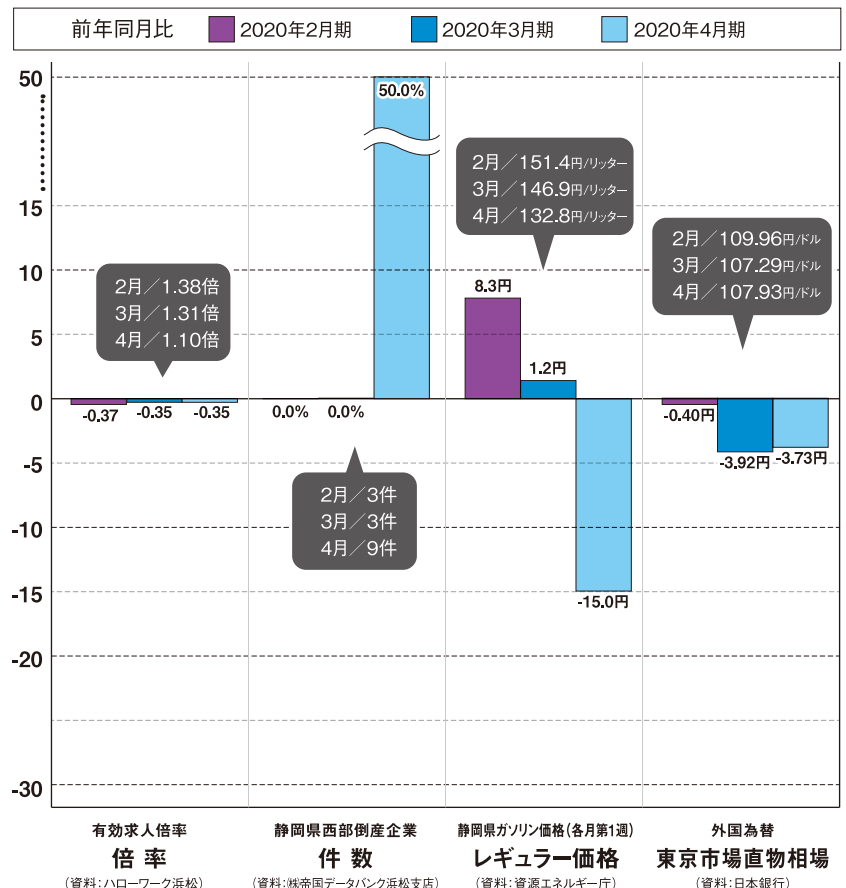


2020年4月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり132.8円となった。前月比14.1円下降、前年同月と比較すると15.0円下降した。石油製品の需要が低迷しており、産油国の生産調整も進まず不安定な値動きとなっている。

### 外国為替



2020年4月の外国為替は1ドル107.93円、前年同月と比較すると3.73円の円高。いまだ、新型コロナウイルスの感染収束の目途は立っておらず、先行きが見えない状態となっている。



# 浜松地域の経済動向

2020年5月を中心に

雇用情勢は急激に悪化。有効求人倍率が1倍を下回る。

新型コロナウイルス感染拡大の長期化が浜松地域の雇用情勢に深刻な影響を与えている。5月の求人数は前年同月より4,248人減少しており、6年7カ月ぶりに有効求人倍率が1倍を下回った。経済活動は再開し始めているが需要が本格回復には至っておらず、製造業では自動車、二輪車とも前年同月比5割強の減産になっている。外出自粛の影響で、タクシーの乗車人員は前年同月67.1%減となっており、浜松市内の一部ホテルはいまだ自粛休業している。

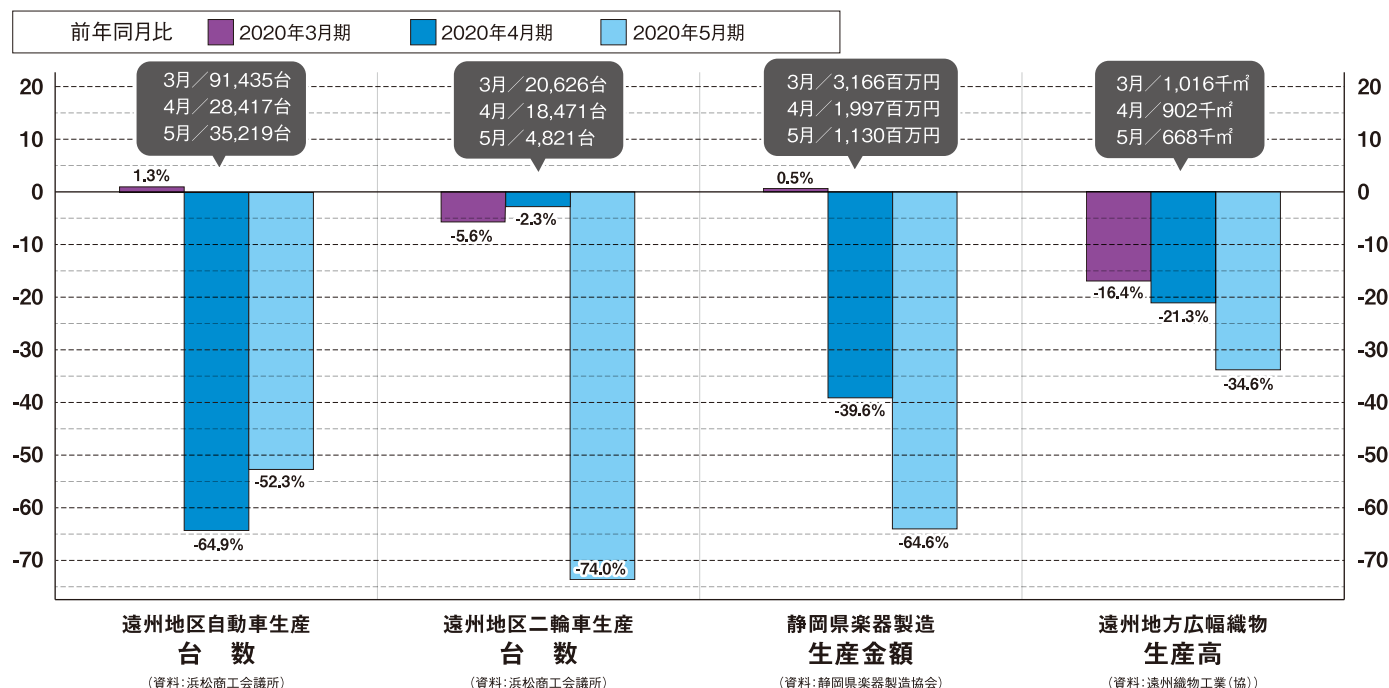
2020.

8

2020年8月発行

発行：浜松商工会議所

## ① 製造業〈主要経済指標〉



### 自動車



2020年5月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比52.3%減の3.5万台となった。小型四輪車、普通四輪車、軽自動車すべてで前年同月を下回った。国内向けは前年同月比53.0%減少、輸出は前年同月比49.4%減少であった。生産台数は前月より0.6万台増加したが、市場は本格回復には至っていない。緊急事態宣言を受けた外出自粛に伴う販売店の営業時間短縮なども影響している。

### 二輪車



2020年5月における二輪車生産台数は前年同月比74.0%減の0.5万台となった。国内向けは、前年同月比22.4%減少、輸出は前年同月比83.1%の減少となった。排気量別では50cc以下前年比22.6%減、51cc～125cc以下97.7%減、126cc～250cc以下89.1%減、251cc以上74.2%減であった。5月は工場停止、生産調整により大幅な減産となったが、二輪車は「3密」を避ける通勤・通学手段として注目を集めており今後の需要増加が期待できる。

### 楽器



2020年5月における生産金額は前年同月比64.6%減の11.3億円となった。分野別に5月の生産台数をみると、楽器メーカーの生産停止や臨時休業での吹奏楽部の活動停止などの影響を受け、ピアノ、電子オルガン、電子・電気ピアノ、管楽器で前年同月を下回った。一方で、ギターや小型のキーボードは好調に推移した。

### 繊維



2020年5月の生産量は前年同月比34.6%減の668千㎡となった。前年比マイナスとなるのは14カ月連続。綿織物、合繊織物、スフ織物、その他織物、全ての織物が前年同月比マイナスとなっている。例年、秋冬衣料向けの生地生産が主となるこの時期は生産量が縮小する時期であることに加え、新型コロナウイルス感染拡大により稼働率が例年以上に低下している。新型コロナウイルス感染拡大の早期収束を期待したい。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2020年5月におけるタクシー乗車人員は前月よりさらに減少し、前年同月比67.1%減の15.3万人となった。前年水準を下回るのは1年9カ月連続。新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が5月25日まで続いたため、ビジネスでの利用者はほとんどなく、夜間需要、日中の通院需要も大幅に減少した。各社でタクシーの稼働調整を行い、乗務員には国の助成金にて休業補償している。

### 観光

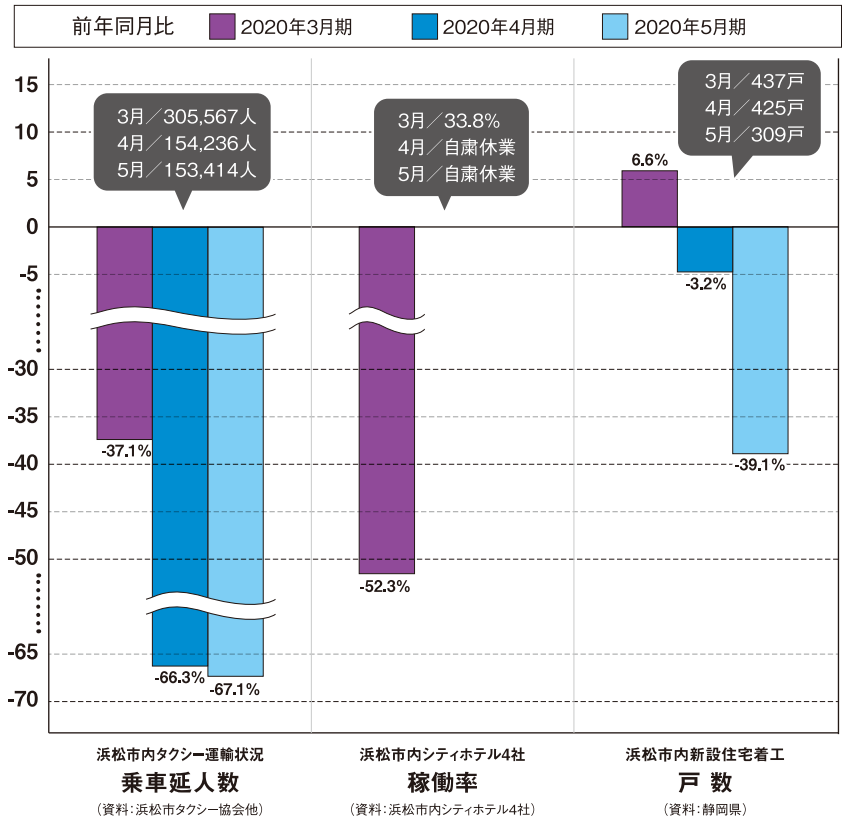


観光業は、国が不要不急の外出を控えるように促した「緊急事態宣言」が5月25日まで続いたこともあり、浜松市内の多くのホテルは4～5月を自粛休業としていた。6月に入り一部のホテルを除き営業を再開したがコロナ以前のような本格稼働とはなっていない。

### 住宅着工



2020年5月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比39.1%減の309戸となった。持家は前年同月比151戸減少、貸家は18戸減少、分譲住宅は31戸減少であった。持家、貸家、分譲住宅すべてで前年同月を下回った。静岡県全体の住宅着工戸数は1,541戸で前年同月2,110戸より569戸減少となり、浜松市も198戸の減少であった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2020年5月の有効求人倍率は前年同月比0.42ポイント下降の0.95となった。前月比では0.15ポイント下降した。全国(1.20)との比較では0.25ポイント下回り、静岡県(1.06)を0.11ポイント下回った。前年同月と比較して月間有効求職者数は835人増加したが、月間有効求人数は4,248人の大幅減となった。有効求人倍率が1倍を下回るのは2013年10月以来であり、雇用状況は急激に悪化している。

### 倒産企業



2020年4月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は3件、負債総額は1.0億円となった。倒産企業数は前年同月より4件、前月からは6件減少、負債総額は前月比58.8億円の減少となった。静岡県全体の倒産件数は13件、前年同月比38.1%減であった。今後は感染拡大の長期化による倒産企業数の増加が懸念される。

### ガソリン価格

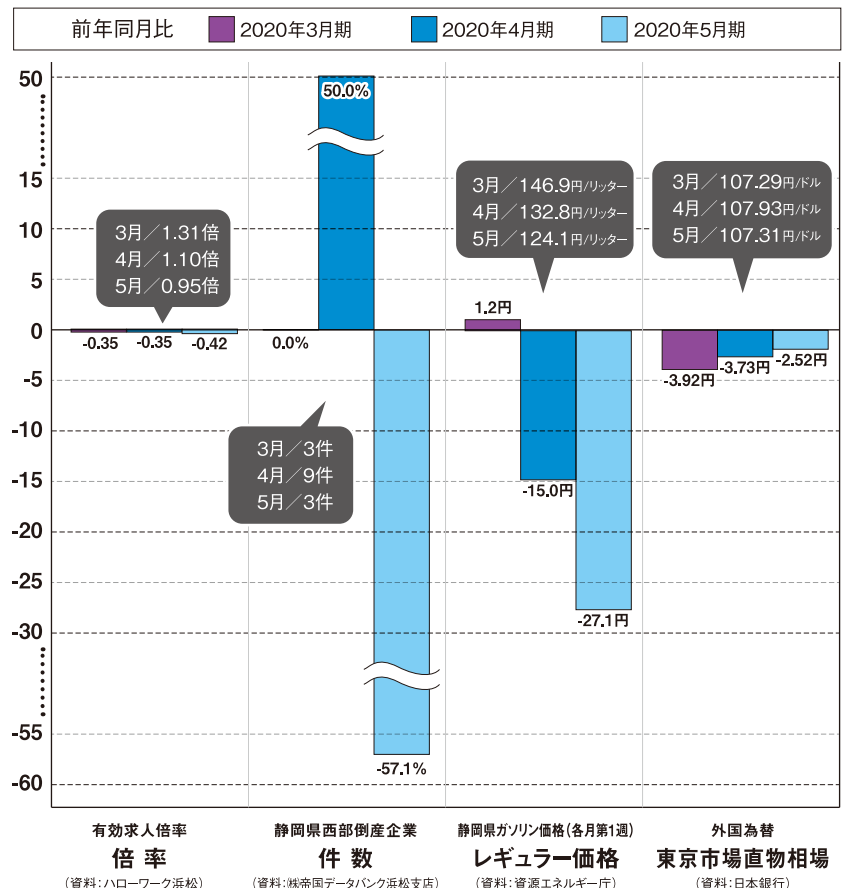


2020年5月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり124.1円となった。前月比8.7円下降、前年同月と比較すると27.1円下降した。経済活動低迷により石油製品の需要が減少している。これ以上の価格低下を防ぐため産油国間での生産調整が検討されている。

### 外国為替



2020年5月の外国為替は1ドル107.31円、前年同月と比較すると2.52円の円高となっている。新型コロナウイルスの感染第二波が懸念されており、今後も不安定な値動きが予想される。



# リーマンショック時に匹敵する マイナス水準

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数は、  
新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言の発出以降、  
不要不急の外出自粛、イベントの中止などにより、過去最低水準に悪化した。

※業況判断指数……景況判断の基準としてDI (Diffusion Index) による分析で、各質問項目のプラス傾向割合から  
マイナス傾向割合を差し引いた数値のこと

2020.  
4月～6月期

2020年8月発行

発行  
浜松商工会議所

|             | 全 体 |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                     | うち小規模事業者                  |                                                                                       |                                                                                       |                                                                                       |
|-------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|             | 調査数 | 業 況                                                                                 |                                                                                     |                                                                                     | 調査数                       | 業 況                                                                                   |                                                                                       |                                                                                       |
|             |     | 前 期                                                                                 | 今 期                                                                                 | 見通し                                                                                 |                           | 前 期                                                                                   | 今 期                                                                                   | 見通し                                                                                   |
| 全 体         | 606 |    |    |    | 255                       |    |    |    |
| 二輪車部品製造     | 45  |    |    |    | 22                        |    |    |    |
| 自動車部品製造     | 73  |    |    |    | 16                        |    |    |    |
| 機械部品製造      | 54  |   |   |   | 32                        |   |   |   |
| 楽器部品製造      | 21  |  |  |  | 14                        |  |  |  |
| 繊維製造        | 21  |  |  |  | 17                        |  |  |  |
| 卸売業         | 73  |  |  |  | 27                        |  |  |  |
| 小売業         | 60  |  |  |  | 24                        |  |  |  |
| 建設業         | 68  |  |  |  | 11                        |  |  |  |
| 不動産業        | 45  |  |  |  | 33                        |  |  |  |
| 飲食・宿泊・レジャー等 | 21  |  |  |  | [2020年4月～6月期中小企業景気動向調査]より |                                                                                       |                                                                                       |                                                                                       |

## 調査で聞き取ったコメント

※意見の多かったものを抜粋して掲載しています。

- 大手メーカーの工場停止、生産計画調整により、受注量が減少している。(二輪車部品製造)
- ステイホームにより車での外出を控えたため、売り上げが減少している。(ガソリンスタンド)
- 公共工事は、現状新型コロナウイルスの影響もなく、売上は前年比微増となっている。(建設業)
- 来店客が多少戻っているが、まだ会社関係が引き続き自粛している。(飲食業)

## 天気予報図の見方

DI: 景気動向指数

|                                                                                     |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                       |                                                                                       |                                                                                       |                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  |  |  |  |  |
| 土砂降り<br>DI: -30.0<br>以下                                                             | 雨<br>DI: -10.0～<br>-29.9                                                            | 曇り<br>DI: -0.1～<br>-9.9                                                             | 薄曇り<br>DI: 0.0～<br>9.9                                                                | 晴れ時々曇り<br>DI: 10.0～<br>19.9                                                           | 晴れ<br>DI: 20.0～<br>29.9                                                               | 快晴<br>DI: 30.0<br>以上                                                                  |





# 浜松地域の経済動向

2020年7月を中心に

感染拡大の長期化により雇用情勢は厳しい状態が続いている。

新型コロナウイルスの感染拡大の長期化により厳しい雇用情勢が続いている。

ハローワーク浜松管内における7月の有効求人倍率は全国1.08を0.23ポイント下回る0.85となり、3カ月連続で1倍を下回る深刻な状態となっている。

一方、遠州地区自動車生産台数は順調に回復してきている。

また、飲食、運輸、観光業も利用者がもとに戻りつつあったが、7月に繁華街で2件の集団感染が発生したため外出を自粛する人が増え、売り上げに影響を与えることとなった。

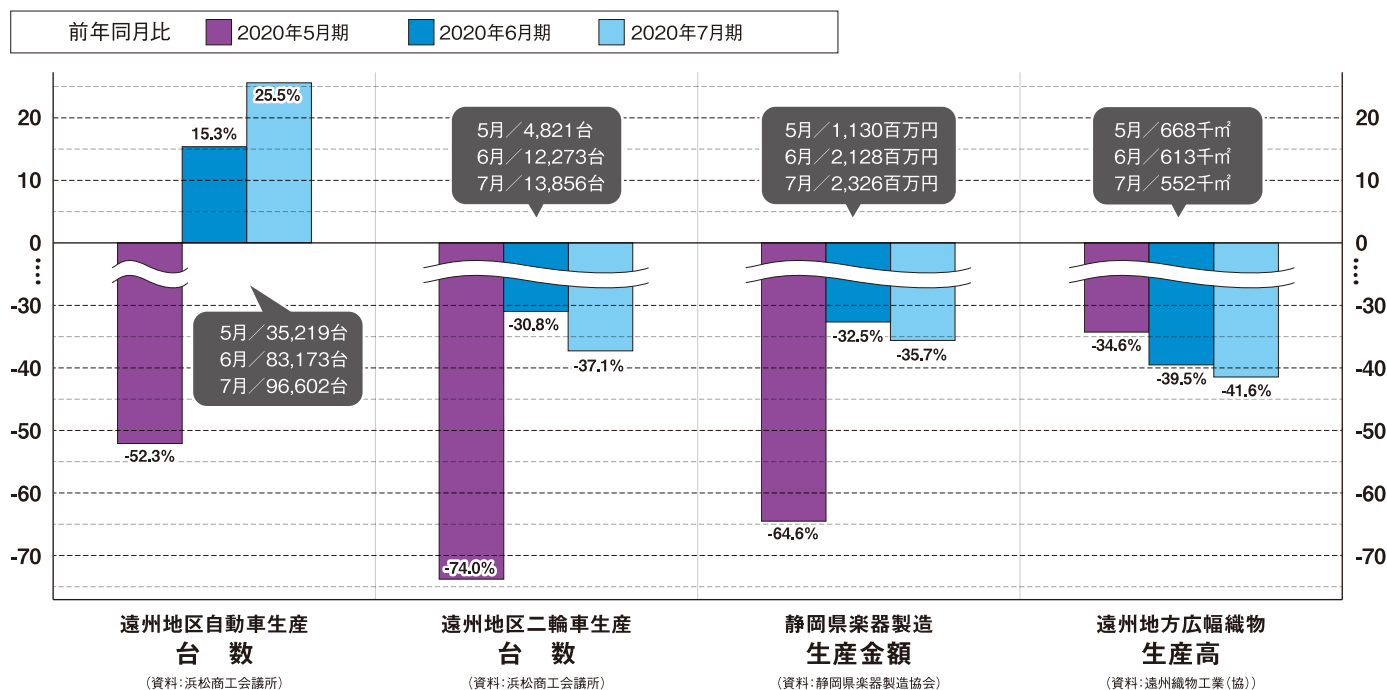
2020.

10

2020年10月発行

発行：浜松商工会議所

## ① 製造業〈主要経済指標〉



### 自動車



2020年7月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比 25.5%増の9.6万台となった。小型四輪車、普通四輪車、軽自動車すべてで前年同月を上回った。国内向けは前年同月比23.2%増加、輸出は前年同月比35.6%増加であった。生産台数は前月より1.3万台増加した。インド、パキスタンなど海外生産拠点は本格稼働とはなっていないが、遠州地区生産は国内向け、輸出向けとも順調に回復してきており2カ月連続で前年同月を上回った。

### 二輪車



2020年7月における二輪車生産台数は前年同月比 37.1%減の1.3万台となった。国内向けは前年同月比 34.6%増加、輸出は前年同月比48.0%の減少となった。排気量別では50cc以下前年比19.5%減、51cc～125cc以下26.9%減、126cc～250cc以下29.1%減、251cc以上46.6%減であった。国内向けは2カ月連続で前年同月を上回っている。輸出向けは5カ月連続で前年同月を下回るなど低調に推移しており回復の目途は立っていない。

### 楽器



2020年7月における生産金額は前年同月比 35.7%減の23億円となった。分野別に7月の生産台数をみると、ピアノ22.3%減、電子・電気ピアノ9.0%増、電子オルガン74.8%増、管楽器48.4%減となっている。また、新型コロナ感染拡大が「音楽教室」にも影響を与えている。

### 繊維



2020年7月の生産量は前年同月比41.6%減の552千㎡となった。前年比マイナスとなるのは16カ月連続。綿織物、合繊織物、スフ織物、その他織物、全ての織物が前年同月比マイナスとなっている。新型コロナウイルス感染拡大による販売店舗の休業、祭りなどの各種イベントの中止により需要が大きく減少した。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2020年7月におけるタクシー乗車人員は前年同月比40.1%減の27.8万人となった。前年水準を下回るのは1年11カ月連続。6月以降需要は順調に回復してきていたが、7月下旬に繁華街で2件の新型コロナウイルス集団感染があり利用者は激減した。休業していたホテルは再開したが催事がないため利用者は少ない。再度、乗務員・営業車を減らす稼働調整を行っている。

### 観光

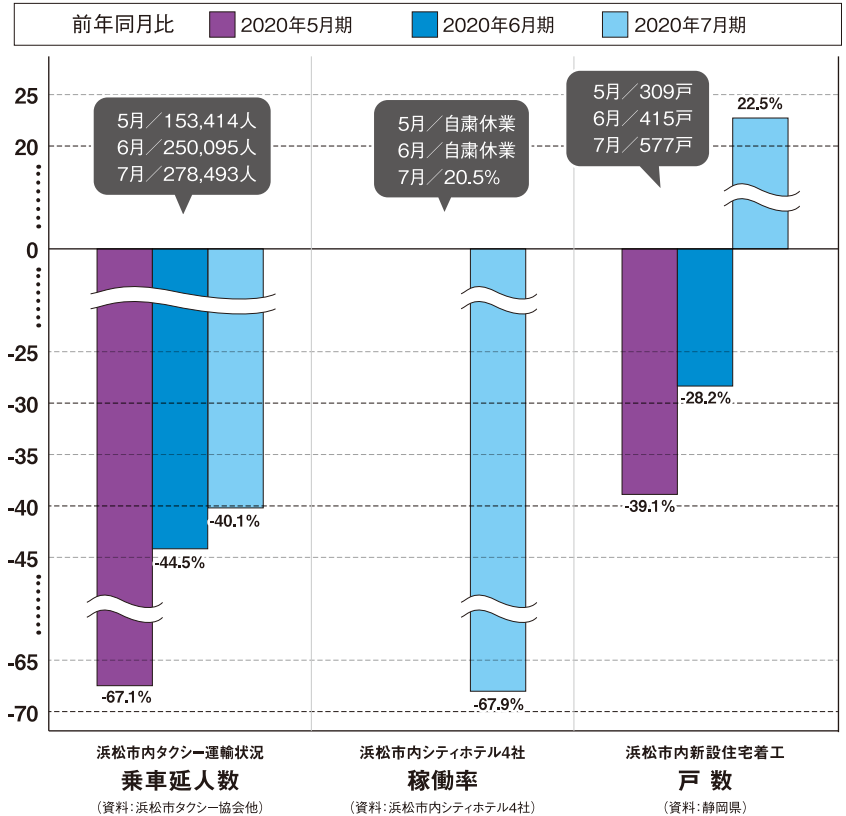


観光業では、自粛休業していたホテルも再開し、GoToトラベルキャンペーンも始まることから本格稼働が期待されたが、浜松市街地で同時期に発生した新型コロナウイルス集団感染により予約キャンセルが相次ぎ、7月の稼働率は前年比マイナス67.9ポイントの20.5%と低調に推移した。

### 住宅着工



2020年7月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比22.5%増の577戸となった。持家は前年同月比32戸減少、貸家は15戸減少、分譲住宅は156戸増加であった。静岡県全体の住宅着工戸数は1,902戸で前年同月1,821戸より81戸増加となった。着工件数の増加は浜松市、静岡県ともマンション着工数の増加によるところが大きい。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2020年7月の有効求人倍率は前年同月比0.59ポイント下降の0.85となった。前月比では0.02ポイント下降した。全国(1.08)との比較では0.23ポイント下回り、静岡県(0.90)を0.05ポイント下回った。前年同月と比較して月間有効求職者数は2,125人増加したが、月間有効求人数は5,190人の大幅減となった。有効求人倍率が1倍を下回るのは3カ月連続。新型コロナウイルス感染拡大の影響で雇用情勢は厳しい状態が続いている。

### 倒産企業



2020年7月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は6件、負債総額は5.9億円となった。倒産企業数は前年同月より1件、前月からは3件減少、負債総額は前月比0.6億円の増加となった。静岡県全体の倒産件数は6件、前年同月比14.3%減であった。新型コロナウイルス感染拡大長期化による倒産企業数の増加が懸念される。

### ガソリン価格

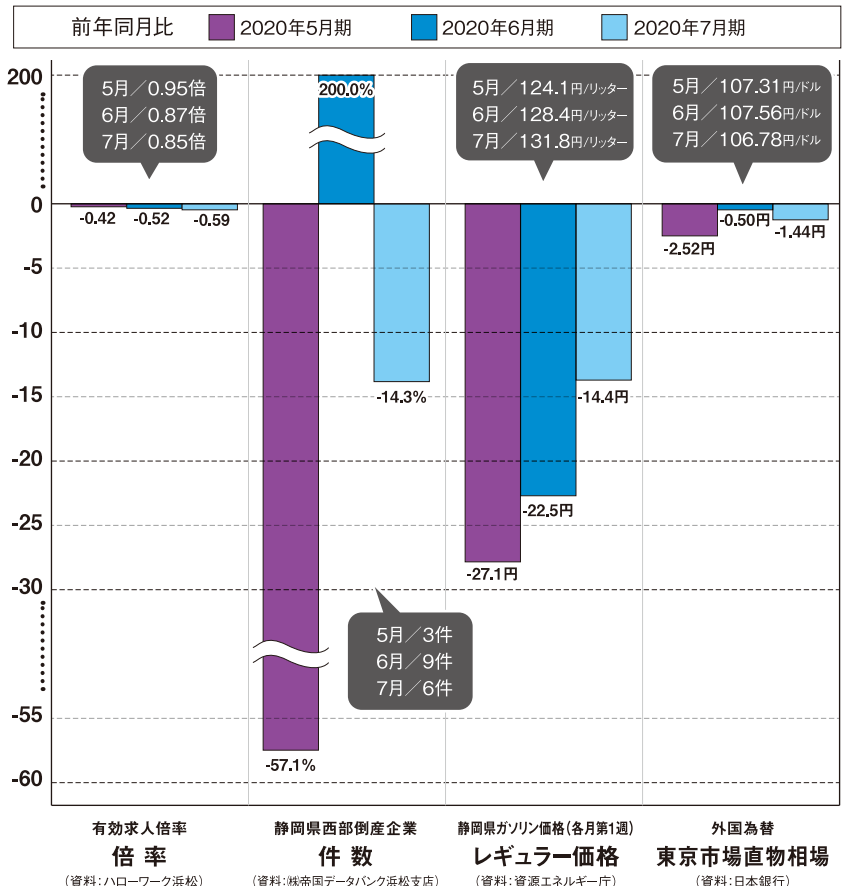


2020年7月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり131.8円となった。前月比3.4円上昇、前年同月と比較すると14.4円下降した。外出自粛でガソリン価格は低下傾向にあったが、経済活動再開により6月から上向き傾向にある。

### 外国為替



2020年7月の外国為替は1ドル106.78円、前年同月と比較すると1.44円の円高となっている。経済の回復状況および政治情勢の為替に与える影響が注視されている。



# 浜松地域の経済動向

2020年8月を中心に

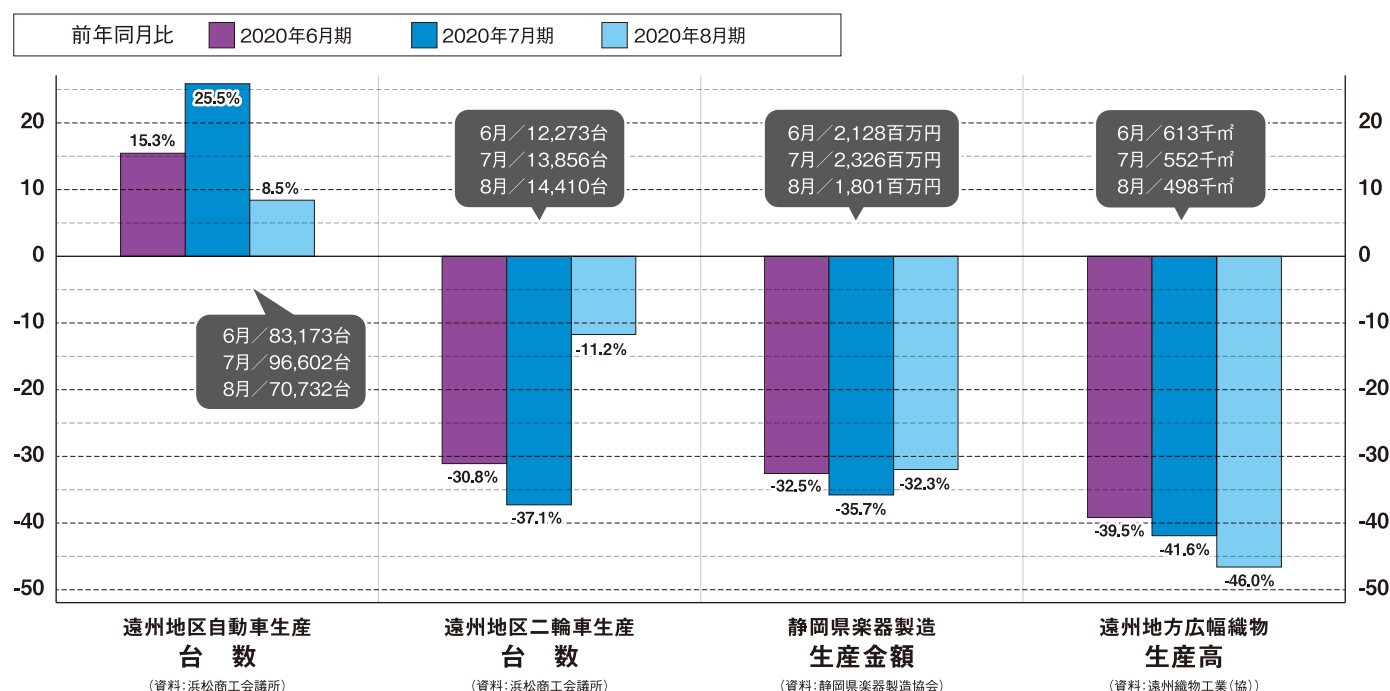
経済活動は徐々に再開されてきたが、  
雇用情勢の悪化に歯止めがかかっていない。

新型コロナウイルス感染拡大を受けて製造業や宿泊業、飲食業、労働者派遣業などで求人数の減少が進んでいる。浜松管内における有効求人倍率は0.84と4カ月連続で1倍を下回っている。  
自動車をはじめ一部製造業では、最悪期を脱し、回復は見られるものの設備投資は増えていない。  
7月24日に発生したクラスターの影響がまだ残り、繁華街飲食店利用者数は回復せず、市内ホテル稼働率、タクシー乗車率も低水準で推移している。

2020.  
11

2020年11月発行  
発行：浜松商工会議所

## ① 製造業〈主要経済指標〉



### 自動車



2020年8月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比8.5%増の7.0万台となった。小型四輪車、普通四輪車、軽自動車すべてで前年同月を上回った。国内向けは前年同月比5.1%増加、輸出は前年同月比23.1%増加であった。生産台数は前月より2.6万台減少した。遠州地区生産は国内向け、輸出向けとも順調に回復してきており3カ月連続で前年同月を上回った。しかし、新型コロナの影響による消費者の収入減少で需要期である年末の買い控えが懸念される。

### 二輪車



2020年8月における二輪車生産台数は前年同月比11.2%減の1.4万台となった。国内向けは前年同月比31.5%減少、輸出は前年同月比7.8%の減少となった。排気量別では50cc以下前年比4.8%減、51cc～125cc以下0.8%減、126cc～250cc以下11.2%増、251cc以上20.2%減であった。国内向けは前月まで2カ月連続で前年同月を上回っていたが、8月は再びマイナスに転じた。輸出向けは6カ月連続で前年同月を下回るなど低調に推移している。一部では「密閉」「密集」「密接」を防ぐ新型コロナ対策の交通手段として配達員を中心に見直されつつある。

### 楽器



2020年8月における生産金額は前年同月比32.3%減の18.0億円となった。分野別に8月の生産台数をみると、ピアノ15.6%減、電子・電気ピアノ22.1%減、電子オルガン99.0%減、管楽器47.7%減となっている。電子オルガン生産台数は前年同月295台が3台になるなど激減した。

### 繊維



2020年8月の生産量は前年同月比46.0%減の498千㎡となった。前年比マイナスとなるのは17カ月連続。綿織物、合繊織物、スフ織物、その他織物、全ての織物が前年同月比マイナスとなっている。新型コロナウイルス感染拡大の影響で生地展示会中止が相次ぎ、販路開拓に向けた商談が思うようにできない状態となっている。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2020年8月におけるタクシー乗車人員は前年同月比54.7%減の21.6万人となった。前年水準を下回るのは24カ月連続。7月24日のクラスター発生以降、8月に入っても夜の街の需要は回復せず、昼間もイベント、催事がないため利用者は伸びなかった。乗務員・営業車を減らす稼働調整が続いている。

### 観光

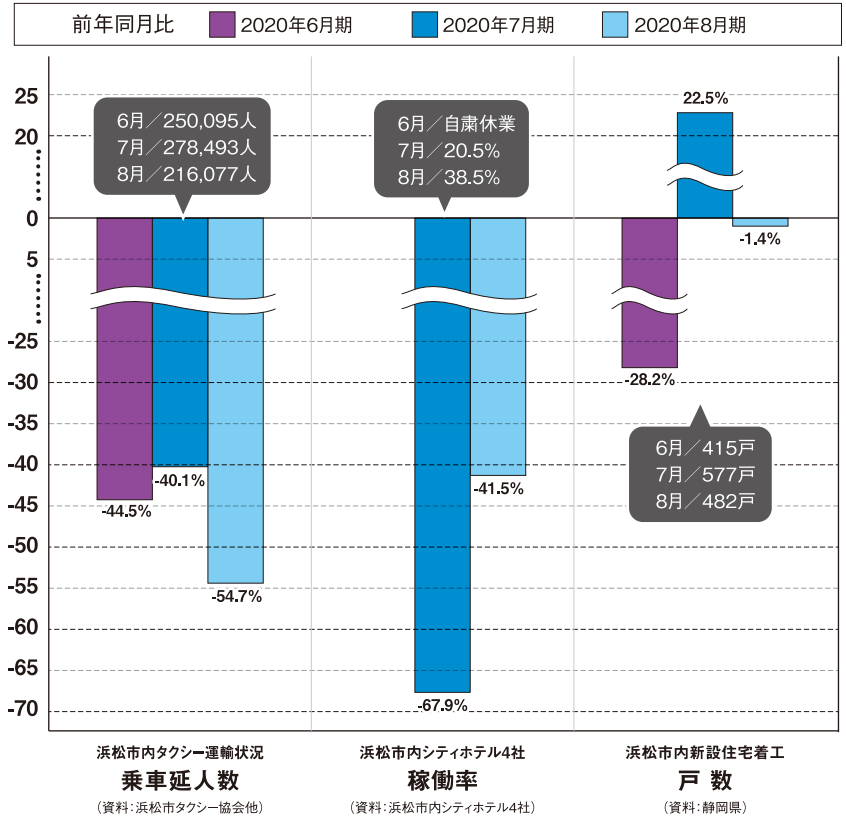


観光業では、7月24日のクラスターの影響で稼働率は低調に推移している。団体予約は発生せず、現状、GoToトラベルの恩恵も授かっていない。ビジネス客は、リモートの浸透により出張を控えており動きは鈍い。

### 住宅着工



2020年8月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比1.4%減の482戸となった。持家は前年同月比4戸減少、貸家は71戸減少、分譲住宅は68戸増加であった。静岡県全体の住宅着工戸数は1,606戸で前年同月2,013戸より407戸減少となった。静岡県全体の着工件数は大幅に減少したが、浜松市は分譲住宅、特にマンション着工が堅調に推移したため7件の微減にとどまった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2020年8月の有効求人倍率は前年同月比0.59ポイント下降の0.84となった。前月比では0.01ポイント下降した。全国(1.04)との比較では0.2ポイント下回り、静岡県(0.88)を0.04ポイント下回った。前年同月と比較して月間有効求職者数は2,336人増加したが、月間有効求人数は4,974人の大幅減となった。有効求人倍率が1倍を下回るのは4カ月連続であり、雇用悪化に歯止めがかかっていない。

### 倒産企業



2020年8月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は5件、負債総額は0.8億円となった。倒産企業数は前年同月より2件増加、前月からは1件減少、負債総額は前月比5.1億円の減少となった。静岡県全体の倒産件数は14件、前年同月比12.5%減であった。新型コロナウイルス感染拡大が収束しておらず年末にかけ倒産企業数の増加が懸念される。

### ガソリン価格

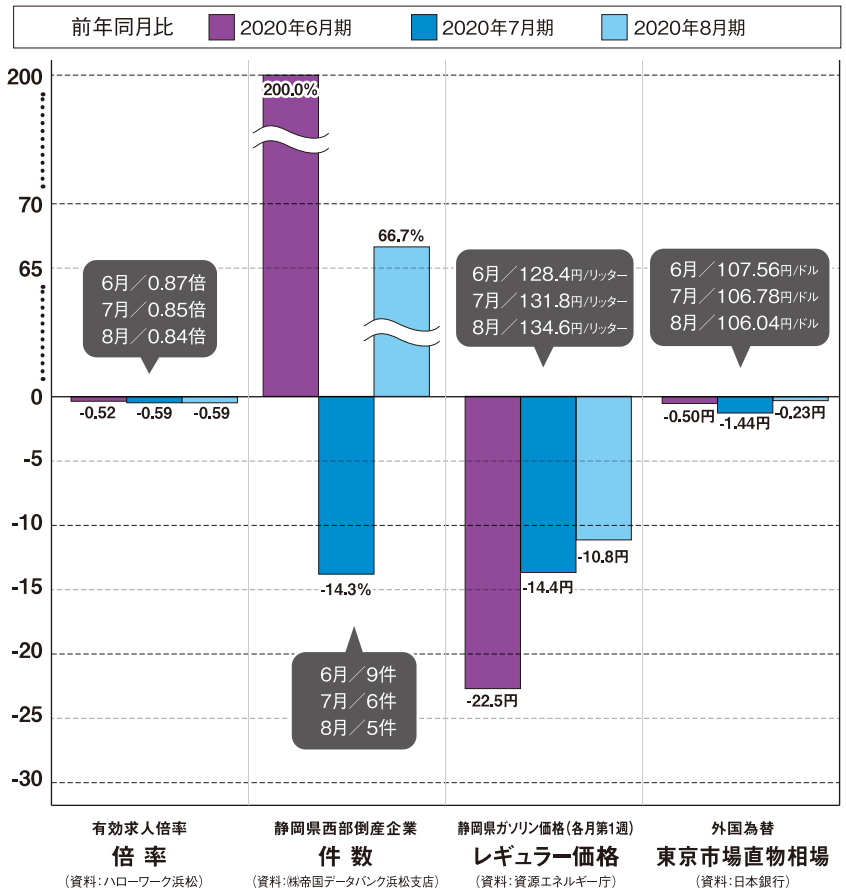


2020年8月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり134.6円となった。前月比2.8円上昇、前年同月と比較すると10.8円下降した。移動制限自粛緩和によりガソリン需要は回復しつつある。

### 外国為替



2020年8月の外国為替は1ドル106.04円、前年同月と比較すると0.23円の円高となっている。今後、米大統領選挙も控えており、政治情勢の為替に与える影響も懸念される。





# リーマンショック時に匹敵する マイナス水準

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数は、新型コロナウイルスの影響で前期(4~6月期)に急落したDIはやや回復したが、依然として不透明感が漂っている。

※業況判断指数……景況判断の基準としてDI(Diffusion Index)による分析で、各質問項目のプラス傾向割合からマイナス傾向割合を差し引いた数値のこと

2020.  
7月~9月期

2020年11月発行

発行  
浜松商工会議所

|             | 全 体 |     |     |     | うち小規模事業者                  |     |     |     |
|-------------|-----|-----|-----|-----|---------------------------|-----|-----|-----|
|             | 調査数 | 業 況 |     |     | 調査数                       | 業 況 |     |     |
|             |     | 前 期 | 今 期 | 見通し |                           | 前 期 | 今 期 | 見通し |
| 全 体         | 627 |     |     |     | 248                       |     |     |     |
| 二輪車部品製造     | 48  |     |     |     | 20                        |     |     |     |
| 自動車部品製造     | 73  |     |     |     | 19                        |     |     |     |
| 機械部品製造      | 57  |     |     |     | 30                        |     |     |     |
| 楽器部品製造      | 22  |     |     |     | 14                        |     |     |     |
| 繊維製造        | 23  |     |     |     | 19                        |     |     |     |
| 卸売業         | 77  |     |     |     | 27                        |     |     |     |
| 小売業         | 57  |     |     |     | 23                        |     |     |     |
| 建設業         | 70  |     |     |     | 9                         |     |     |     |
| 不動産業        | 45  |     |     |     | 29                        |     |     |     |
| 飲食・宿泊・レジャー等 | 22  |     |     |     | [2020年7月~9月期中小企業景気動向調査]より |     |     |     |

## 調査で聞き取ったコメント

※意見の多かったものを抜粋して掲載しています。

- 3密を回避できるバイクでの外出が見直され、受注も回復傾向にある。(二輪車部品製造)
- 9月に入り受注が回復しているため、今後の売上増加に期待している。(自動車部品製造)
- 家族葬など葬儀の規模縮小により簞盛の需要が低下している。(小売業)
- 少しずつお客さまが戻りつつあったが、7月にクラスターが発生し、売上が再度激減した。(飲食業)

## 天気予報図の見方

DI:景気動向指数

|            |                |              |            |              |              |           |
|------------|----------------|--------------|------------|--------------|--------------|-----------|
|            |                |              |            |              |              |           |
| 土砂降り       | 雨              | 曇り           | 薄曇         | 晴れ時々曇り       | 晴れ           | 快晴        |
| DI:-30.0以下 | DI:-10.0~-29.9 | DI:-0.1~-9.9 | DI:0.0~9.9 | DI:10.0~19.9 | DI:20.0~29.9 | DI:30.0以上 |



# 浜松地域の経済動向

2020年9月を中心に

新型コロナの影響により、  
一部に厳しい状況が残るものの、持ち直している。

自動車関連では、感染症によるサプライチェーンへの影響が解消されたことなどから、着実に持ち直している。

二輪車は、国内や欧米向けで増産を行う動きが一部にみられるなど、持ち直している。

GoToトラベルキャンペーンの効果もあって観光客は回復してきているが団体客の戻りは遅れている。

求人減少がこのところ下げ止まりつつあるものの、求職者数が増加していることから有効求人倍率は低水準が続いている。

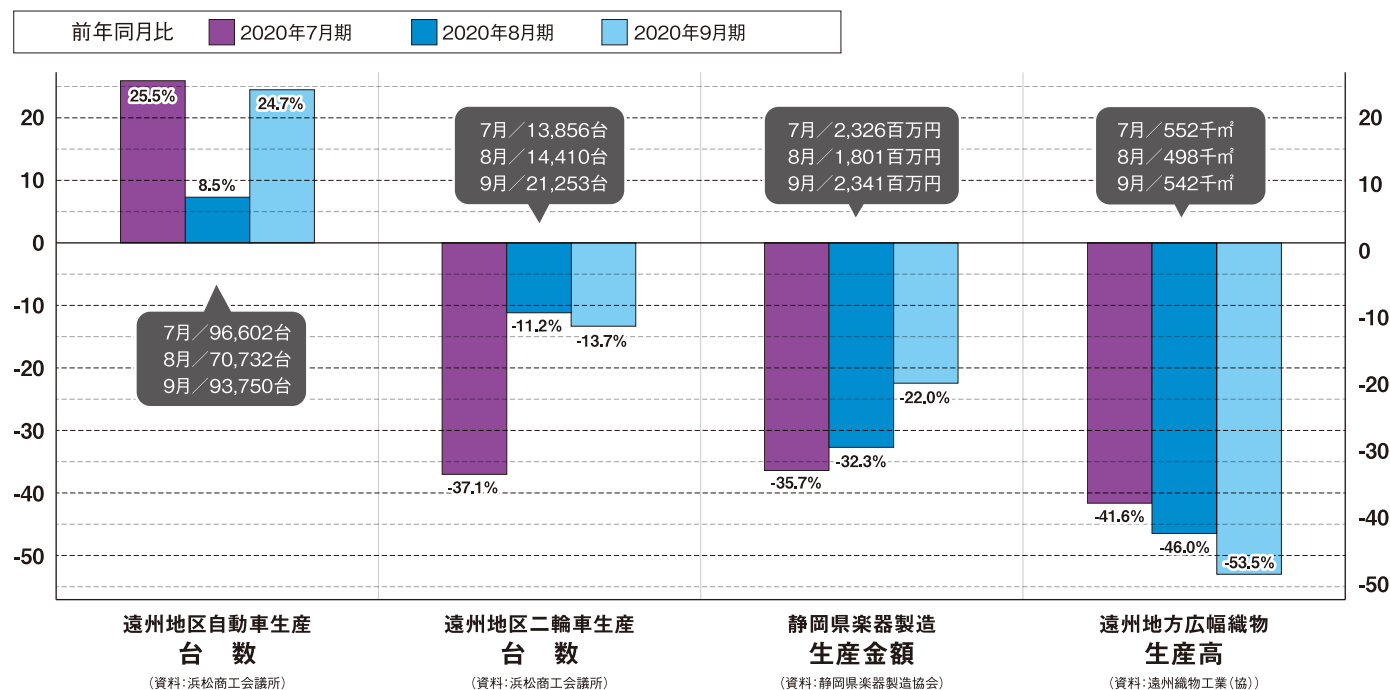
浜松市内新設住宅着工戸数は前年同月を下回っている。

2020.  
12

2020年12月発行

発行：浜松商工会議所

## ① 製造業〈主要経済指標〉



### 自動車



2020年9月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比24.7%増の9.3万台となった。小型四輪車、普通四輪車、軽自動車全てで前年同月を上回った。国内向けは前年同月比17.6%増、輸出は前年同月比67.3%増であった。生産台数は前月より2.3万台増加した。遠州地区生産は国内向け、輸出向けとも順調に回復してきており4カ月連続で前年同月を上回った。新型コロナウイルス感染拡大による買い控えが懸念されたが、中国、米国を中心に需要が回復してきている。

### 二輪車



2020年9月における二輪車生産台数は前年同月比13.7%減の2.1万台となった。国内向けは前年同月比10.0%減、輸出は前年同月比14.2%減となった。排気量別では50cc以下前年比29.5%増、51cc～125cc以下23.0%増、126cc～250cc以下14.4%増、251cc以上29.6%減であった。輸出向けは7カ月連続で前年同月を下回るなど低調に推移した。生産台数は、前月より0.7万台増加するなど持ち直しつつある。

### 楽器



2020年9月における生産金額は前年同月比22.0%減の23.4億円となった。分野別に9月の生産台数を見ると、ピアノ4.2%減、電子・電気ピアノ22.3%増、電子オルガン75.5%減、管楽器42.3%減となっている。電子オルガンの生産台数は66台と回復の兆しが見えないが、電子・電気ピアノの生産台数は前年同月20%増と好調に推移した。

### 繊維



2020年9月の生産量は前年同月比53.5%減の542千㎡となった。前年比マイナスとなるのは18カ月連続。綿織物、合繊織物、スフ織物、その他織物、全ての織物が前年同月比マイナスとなっている。例年9月は多くの織布工場に来春夏向け生地を受注が入るが、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で一部の織布工場以外は受注が大幅に減少している。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2020年9月におけるタクシー乗車人員は前年同月比40.7%減の25.1万人となった。前年水準を下回るのは25カ月連続。9月に入り繁華街での夜間利用者は回復してきたが、平日の日中は出張者がいないため稼働率は悪い。浜松市と協力してデリバリー配送の実証実験を開始したが認知が不十分で、売上に影響を与えるまでには至っていない。

### 観光

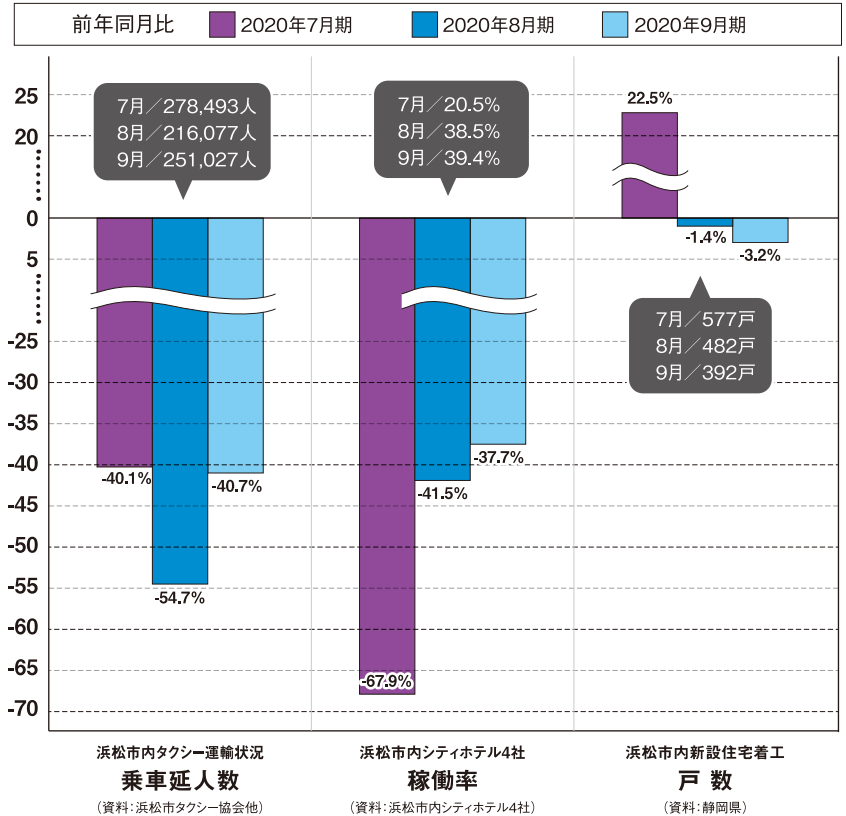


観光業では、浜松市内ホテル利用者でビジネス客は、リモート会議増加の影響で回復していない。観光客はGoToトラベルキャンペーンの効果で、週末、休前日を中心に回復しつつある。団体客は修学旅行での利用はあるものの全体的に動きは鈍い。ホテル稼働率は39.4%と50%を下回っている。

### 住宅着工



2020年9月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比3.2%減の392戸となった。持家は前年同月比37戸減少、貸家は50戸増加、分譲住宅は28戸減少であった。静岡県全体の住宅着工戸数は1,773戸で前年同月1,536戸より237戸増加となった。浜松市は貸家は増加したが、持家、分譲住宅が減少し静岡県418戸を26戸下回った。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2020年9月の有効求人倍率は前年同月比0.56ポイント下降の0.86となった。前月比では0.02ポイント上昇した。全国(1.03)との比較では0.17ポイント下回り、静岡県(0.90)を0.04ポイント下回った。前年同月と比較して月間有効求職者数は2,579人増加したが、月間有効求人数は4,421人の減少となった。有効求人倍率が1倍を下回るのは5カ月連続であり、雇用情勢は厳しい状態が続いている。

### 倒産企業



2020年9月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は3件、負債総額は3.6億円となった。倒産企業数は前年同月より2件減少、前月からは2件減少、負債総額は前月比2.8億円の増加となった。静岡県全体の倒産件数は15件、前年同月比11.8%減であった。乾燥と気温低下により新型コロナウイルス感染再拡大が心配されており、年末、年度末にかけて倒産企業数の増加が懸念される。

### ガソリン価格

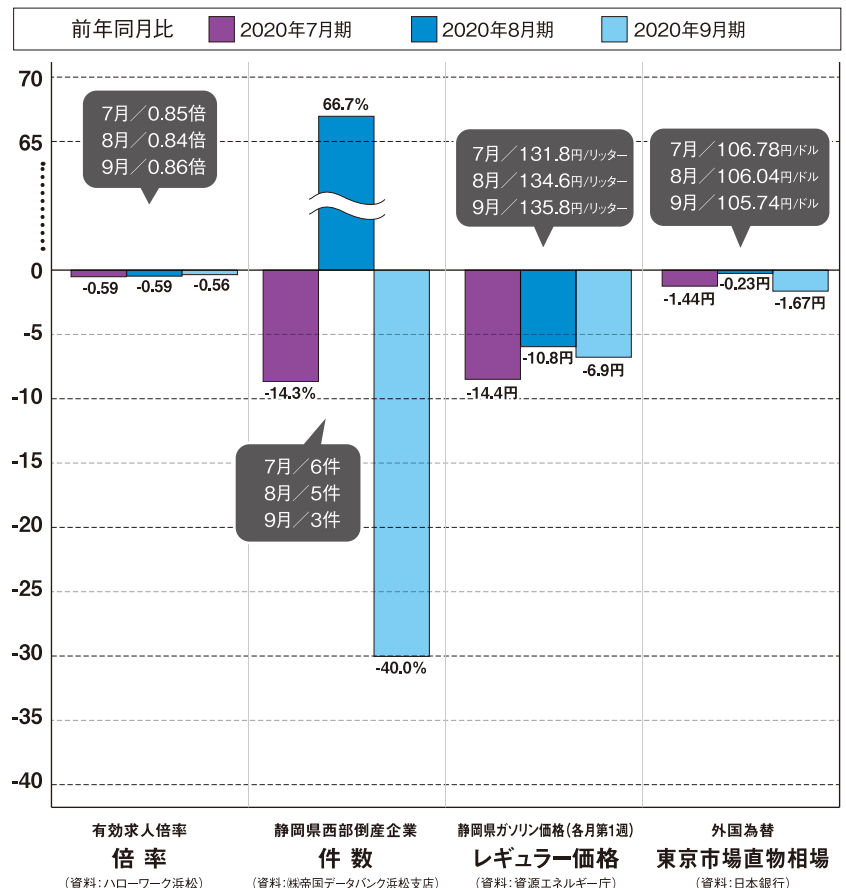


2020年9月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり135.8円となった。前月比1.2円上昇、前年同月と比較すると6.9円下降した。経済活動の本格再開とGoToトラベルキャンペーンにより需要回復してきている。

### 外国為替



2020年9月の外国為替は1ドル105.74円、前年同月と比較すると1.67円の円高となっている。米国大統領選挙結果による政治情勢の影響が懸念される。



# 浜松地域の経済動向

2020年10月を中心に

業況は改善しつつあるが、新型コロナ感染再拡大が懸念される。

遠州地区自動車生産台数は北米への輸出が増加し順調に回復してきているが、

輸出が不振の二輪車、楽器製造は対前年同月比10%以上のマイナスとなった。

観光業、飲食業はGotoトラベル・Gotoイートキャンペーンにより週末、休前日を中心に利用者は増加傾向にある。

また、雇用情勢は厳しい状況が続いており、10月の有効求人倍率は0.90と6カ月連続で1倍を下回った。

気温の低下とともに新型コロナ感染者が再び増加してきており、外出自粛による経済への影響が懸念される。

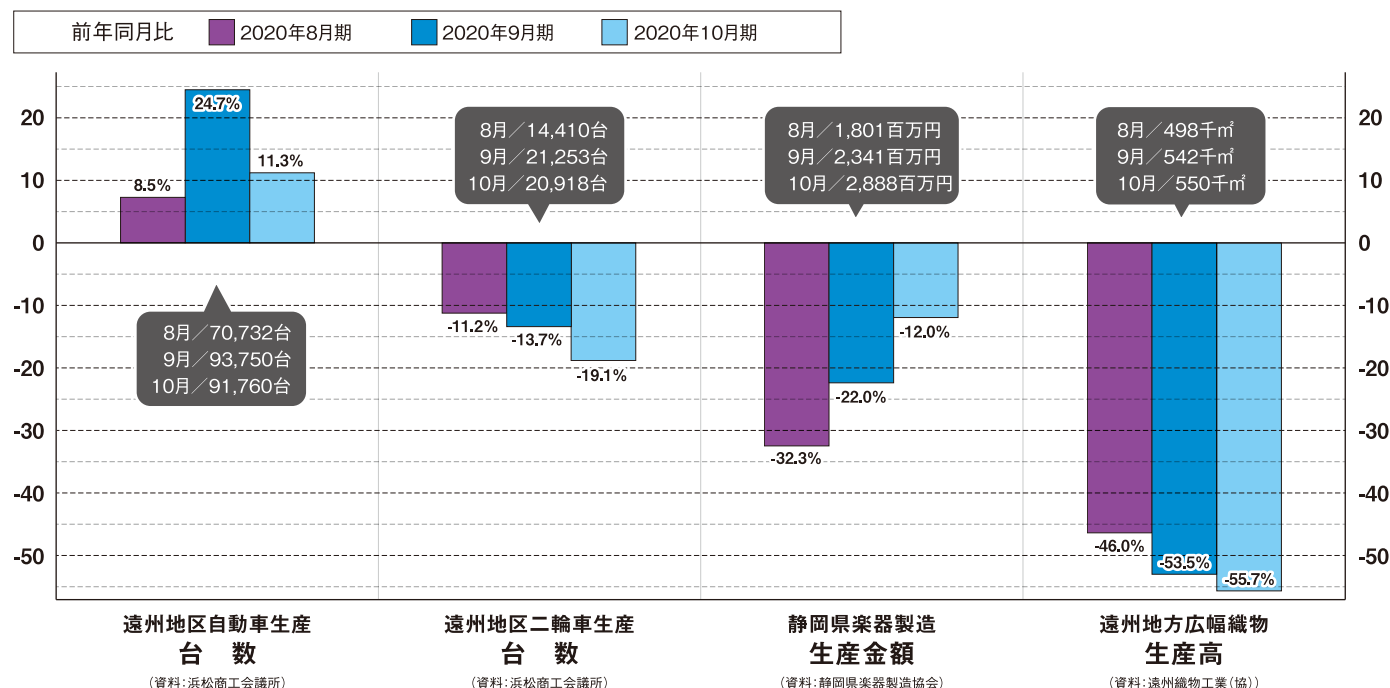
2021.

1

2021年1月発行

発行：浜松商工会議所

## ① 製造業〈主要経済指標〉



### 自動車



2020年10月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比11.3%増の9.1万台となった。小型四輪車、普通四輪車、軽自動車すべてで前年同月を上回った。国内向けは前年同月比10.9%、輸出は前年同月比12.7%増であった。生産台数は前月より0.2万台減少した。遠州地区生産は国内向け、輸出向けとも順調に回復してきており5カ月連続で前年同月を上回った。特に、北米への輸出は順調であった。欧州はロックダウンの影響もあり低調に推移した。

### 二輪車



2020年10月における二輪車生産台数は前年同月比19.1%減の2.0万台となった。国内向けは前年同月比33.7%増、輸出は前年同月比23.0%減となった。排気量別では50cc以下前年比72.7%増、51cc～125cc以下71.9%増、126cc～250cc以下12.5%増、251cc以上38.7%減であった。輸出向けは8カ月連続で前年同月を下回ったなど低調に推移した。新型コロナ禍にあって密になりやすい公共交通機関を避け、自転車や二輪車で通勤・通学する人が増えてきている。

### 楽器



2020年10月における生産金額は前年同月比12.0%減の28.8億円となった。分野別に10月の生産台数をみると、ピアノ2.9%増、電子・電気ピアノ22.8%増、電子オルガン36.8%減、管楽器35.2%減となっている。電子オルガンは15カ月連続、管楽器は7カ月連続で前年同月比マイナスとなっている。

### 繊維



2020年10月の生産量は前年同月比55.7%減の550千㎡となった。前年比マイナスとなるのは19カ月連続。綿織物、合繊織物、スフ織物、その他織物、全ての織物が前年同月比マイナスとなっている。例年10月は、来春夏向け素材の生産が拡大していく時期であるが、新型コロナ感染拡大の影響で受注が減少しており非常に厳しい状況にある。先行きの見通しも立っていない。



## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2020年10月におけるタクシー乗車人員は前年同月比33.1%減の28.9万人となった。前年水準を下回るのは26カ月連続。Gotoトラベル地域共通クーポン利用者はまだ少ないが、週末の夜は利用者が増加してきている。日中の利用者、特に平日は利用者が少なく、乗務員・営業車の需給調整を継続している。

### 観光

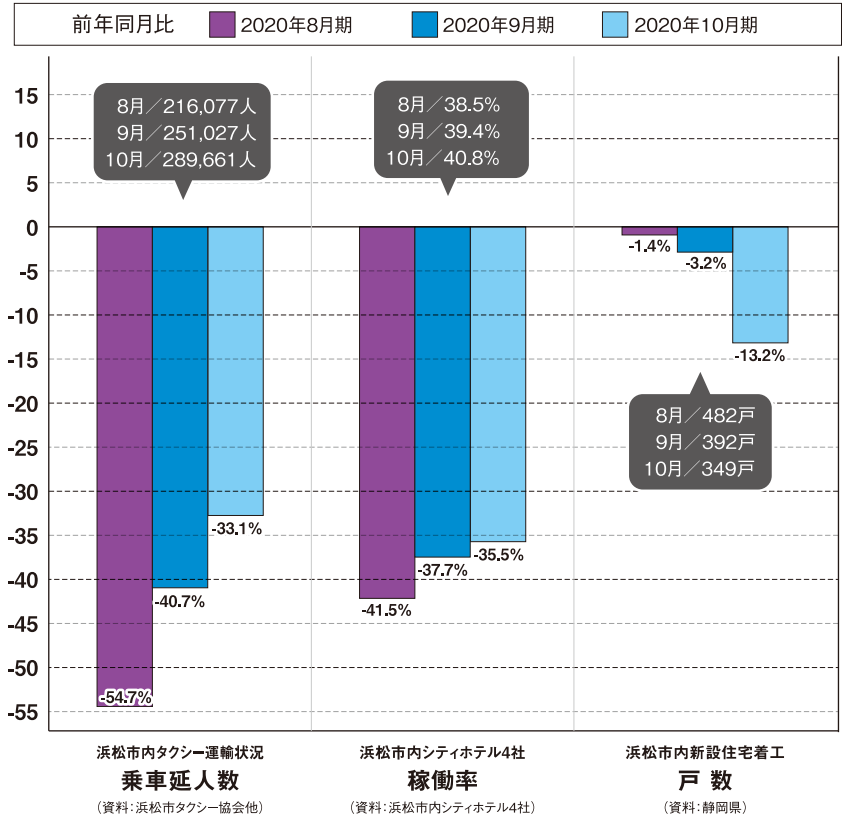


観光業では、個人観光客はGotoトラベルキャンペーンの効果が始まり、週末、休前日を中心に回復した。団体観光客については市内クラスターの影響が大きくキャンセルが多発し低調であった。10月のホテル稼働率は40.8%と前月稼働率を1.4ポイント上回った。今後、報道などにあるGotoトラベルキャンペーンの動向による影響が懸念される。

### 住宅着工



2020年10月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比13.2%減の349戸となった。持家は前年同月比28戸減少、貸家は24戸増加、分譲住宅は49戸減少であった。静岡県全体の住宅着工戸数は1,661戸で前年同月1,951戸より290戸減少となった。浜松市は分譲住宅が大幅に減少した。静岡市との比較で新築住宅着工戸数総計では、静岡市314戸を35戸上回った。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2020年10月の有効求人倍率は前年同月比0.54ポイント下降の0.90となった。前月比では0.04ポイント上昇した。全国(1.04)との比較では0.14ポイント下回り、静岡県(0.93)を0.03ポイント下回った。前年同月と比較して月間有効求職者数は2,718人増加したが、月間有効求人数は3,898人の減少となった。有効求人倍率が1倍を下回るのは6カ月連続。今後、コロナ禍で企業の業績が悪化し、解雇や雇止めにあう人が増えていくことが懸念される。

### 倒産企業



2020年10月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は5件、負債総額は3.4億円となった。倒産企業数は前年同月より1件減少、前月からは2件増加、負債総額は前月比0.1億円の減少となった。静岡県全体の倒産件数は16件、前年同月比15.8%減であった。流行期をむかえ、新型コロナウイルスの感染再拡大による飲食業を中心とする倒産企業数増加が懸念される。

### ガソリン価格

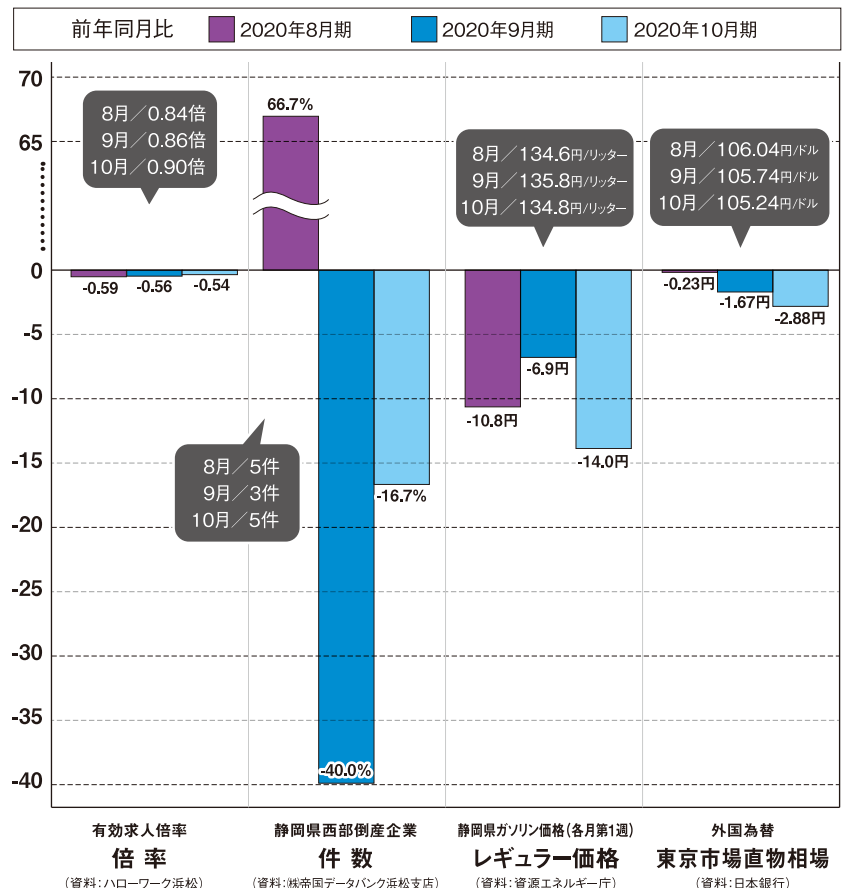


2020年10月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり134.8円となった。前月比1.0円下降、前年同月と比較すると14.0円下降した。再度、活動自粛となればガソリン需要が減少し、価格に影響がでる可能性がある。

### 外国為替



2020年10月の外国為替は1ドル105.24円、前年同月と比較すると2.88円の円高となっている。米国新政権と中国の対立長期化で為替に影響がでることが懸念される。



# 浜松地域の経済動向

2020年12月を中心に

新型コロナ感染拡大により、  
一部に厳しい状況があるものの、持ち直してきている。

「個人消費」は感染拡大の影響により、飲食店、観光地への入込および宿泊者数が弱含んでいる。

自動車関連では、新型車効果や海外需要の回復がみられることから、着実に持ち直している。

有効求人倍率は、自動車生産台数の増加に伴い、緩やかであるが、回復傾向にある。

広幅織物は前年同月対比マイナスが続いている。二輪車生産台数、楽器生産金額も前年同月を下回る状態が続いている。

先行きについては、引き続き持ち直して行くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。

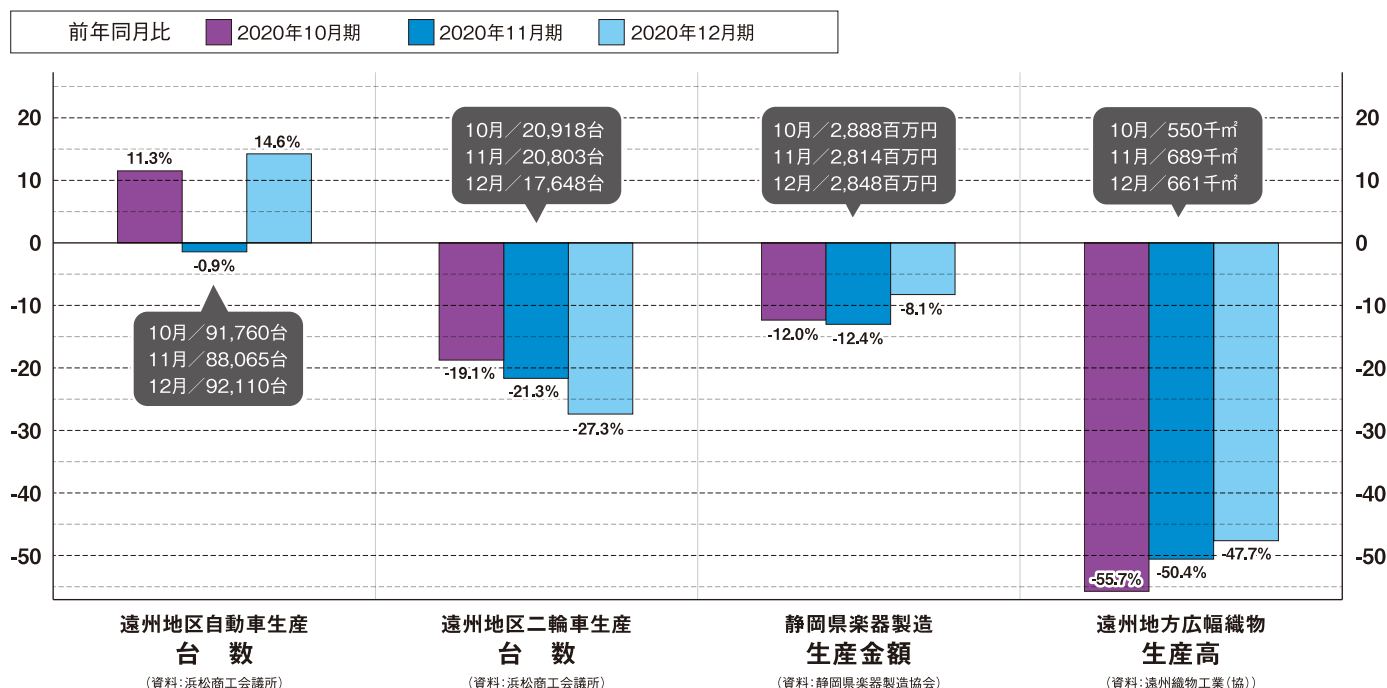
2021.

3

2021年3月発行

発行：浜松商工会議所

## ① 製造業〈主要経済指標〉



### 自動車



2020年12月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比14.6%増の9.2万台となった。普通四輪車、小型四輪車、軽自動車、すべてで前年同月を上回った。国内向けは前年同月比6.5%増、輸出は前年同月46.7%増であった。生産台数は前月より0.4万台増加した。自動車関連は、国内外の需要が持ち直しており、生産は高水準で推移している。

### 二輪車



2020年12月における二輪車生産台数は前年同月比27.3%減の1.7万台となった。国内向けは前年同月比66.5%減、輸出は前年同月比21.8%減となった。排気量別では50cc以下前年比37.6%減、51cc～125cc以下59.1%増、126cc～250cc以下8.8%減、251cc以上35.2%減であった。輸出向けは10カ月連続で前年同月を下回った。小型二輪車は大幅に増加した。前月、大幅に増加した国内向けは、12月は一転、60%を超す大幅な減少となった。

### 楽器



2020年12月における生産金額は前年同月比8.1%減の28.4億円となった。分野別に12月の生産台数をみると、ピアノ12.0%増、電子・電気ピアノ7.6%増、電子オルガン40.8%減、管楽器30.8%減となっている。電子・電気ピアノは4カ月連続で前年同月を上回っているが、電子オルガンは17カ月連続、管楽器は9カ月連続で対前年同月比マイナスとなっている。

### 繊維



2020年12月の生産量は前年同月比47.7%減の661千㎡となった。前年比マイナスとなるのは21カ月連続。綿織物、合繊織物、スフ織物、その他織物、全ての織物が前年同月比マイナスとなっている。低下傾向に歯止めが掛かっていない。例年であれば12月はもっとも忙しい時期であるが今年は受注確保がままならず、1～3月の見通しも立たない状況となっている。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2020年12月におけるタクシー乗車人員は前年同月比44.3%減の27.2万人となった。前年水準を下回るのは28カ月連続。12月中旬、市内で2件のクラスターが発生し、GoToトラベルの一斉停止もあり前年同月を大きく下回った。12月後半は宅配の仕事は増加したが、通院、ビジネス、ホテルの催事での利用は不振であった。

### 観光

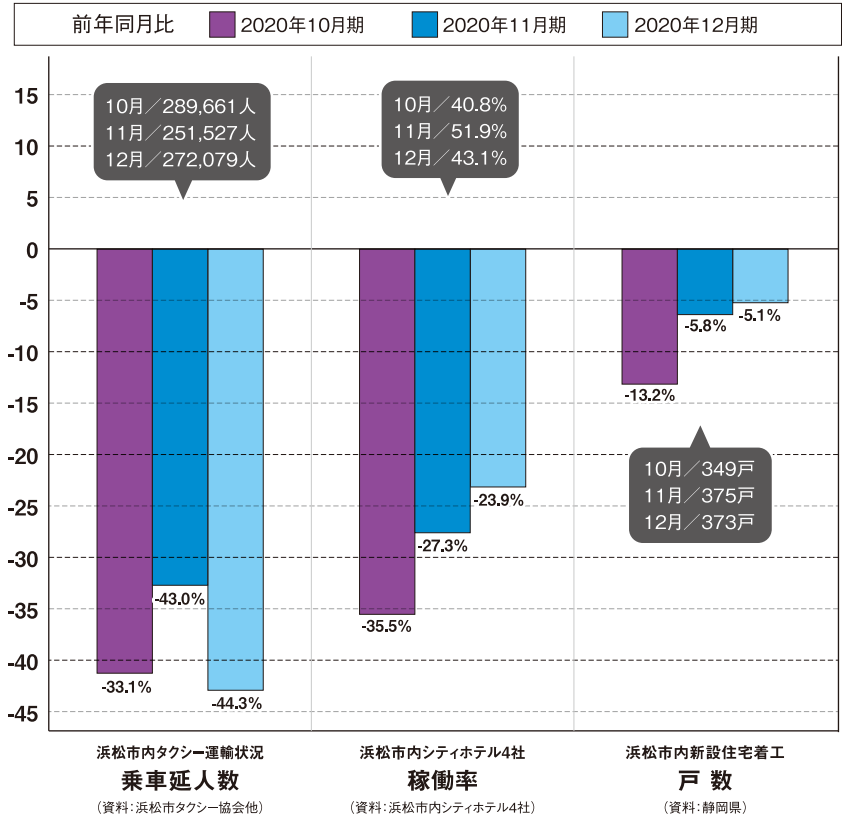


観光業では、GoToトラベルキャンペーンの停止、首都圏を中心に発令された緊急事態宣言の影響を受け、個人客のキャンセルが相次ぎ12月のホテル稼働率は43.1%と前月稼働率を8.8ポイント下回った。

### 住宅着工



2020年12月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比5.1%減の373戸となった。持家は前年同月比8戸減少、貸家は32戸減少、分譲住宅は25戸増加であった。静岡県全体の住宅着工戸数は1,780戸であった。浜松市は分譲住宅は増加したが、持家、貸家が減少した。特に貸家の減少戸数が大きかった。着工総数は前月を2戸下回った。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2020年12月の有効求人倍率は前年同月比0.50ポイント下降の1.01となった。前月比では0.06ポイント上昇した。全国(1.06)との比較では0.05ポイント下回り、静岡県(0.96)を0.05ポイント上回った。前年同月と比較して月間有効求職者数は2,071人増加した。月間有効求職者数は前月比で15人の減少となった。7カ月間1倍を下回っていた有効求人倍率は12月、1倍を上回った。浜松管内では、自動車生産台数の増加に伴い、雇用情勢に回復の兆しが見えるが、求職者の増加は僅かであり、雇用情勢の本格回復には至っていない。

### 倒産企業



2020年12月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は7件、負債総額は5.2億円となった。倒産企業数は前年同月より4件増加、前月より2件増加した。負債総額は前月比2.0億円の増加となった。静岡県全体の倒産件数は17件、前年同13.3%増であった。新型コロナ禍に伴う国や自治体の資金繰り支援で倒産件数の急増は防げているが、今後、活動自粛が長期化することによる倒産企業数増加が懸念される。

### ガソリン価格



2020年12月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり133.5円となった。前月比0.6円下降、前年同月と比較すると13.7円下降した。

### 外国為替



2020年12月の外国為替は1ドル103.8円、前年同月と比較すると5.4円の円高となっている。米国や中国の景気減速懸念によるリスク回避として円高傾向が強まってきている。円高による輸出への悪影響が懸念される。

